

高等学校 令和7年度

教科 公民 科目 公共

対象学年組： 第1 学年 M 組

単位数： 2 単位

教科担当者： 門脇 卓也

使用教科書： 発行者 数研

教科書記号・番号 公共709

教科書名 高等学校 公共 これからの社会について考える

教科 「公民」 の目標

【知識及び技能】	概念や理論，及び倫理，政治，経済などに関わる現代の諸課題について理解し，情報を適切かつ効果的に使うことができる。
【思考力、判断力、表現力等】	事実を基に概念などを活用して多面的・多角的に考察したり，解決に向けて公正に判断出来る
【学びに向かう力、人間性等】	現代の諸課題を国家及び社会の形成者として，主体的に解決しようとしている。

科目 「公共」 の目標

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
概念や理論，及び倫理，政治，経済などに関わる現代の諸課題について理解し，情報を適切かつ効果的に使うことができる。	事実を基に概念などを活用して多面的・多角的に考察したり，解決に向けて公正に判断出来る	現代の諸課題を国家及び社会の形成者として，主体的に解決しようとしている。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知・技	思・判・表	態	配当 時数
1 学 期	A 単元 日本社会の基本原則 【知識及び技能】 日本国憲法の基本原則や保障されている権利が理解する 【思考力、判断力、表現力等】 日本国憲法の基礎にある考え方について，多面的・多角的に考察したり，解決に向けて公正に判断する 【学びに向かう力、人間性等】 日本国憲法と自らの生き方を結びつけることができる	日本国憲法の特徴 日本国憲法の基本原則 国民主権と天皇の地位と役割 基本的人権と公共の福祉 法の下での平等 国会のしくみと役割 衆議院と参議院 内閣の地位と職務 行政権の肥大	【知識及び技能】 日本国憲法の基本原則や保障されている権利が理解できているか 【思考力、判断力、表現力等】 日本国憲法の基礎にある考え方について，多面的・多角的に考察したり，解決に向けて公正に判断できるか 【学びに向かう力、人間性等】 日本国憲法と自らの生き方を結びつけることができるか	○	○	○	12
	定期考査			○	○		1
	B 単元 ルールをつくり守る私たち 【知識及び技能】 法や規範の意義や役割を理解する 【思考力、判断力、表現力等】 裁判によって国民の権利が守られているのか考察できている。 【学びに向かう力、人間性等】 裁判員制度の意義をふまえて参画する自覚を持つことができる	法の機能と限界 法の分類と憲法との関係について 私法の特徴経済活動や生活のなかの法律 司法権の独立と裁判官の身分保障 裁判所の種類やしくみ 違憲審査権と違憲審査の意義 司法制度の改革	【知識・技能】 法や規範の意義や役割を理解できたか。 【思考・判断・表現】 裁判によって国民の権利が守られているのか考察できたか。 【主体的に学習に取り組む態度】 裁判員制度の意義をふまえて参画する自覚を持つことができたか。	○	○	○	8
C 単元 政治参加と民主政治の課題 【知識及び技能】 地方自治や選挙の仕組み，政党の役割について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 自分が理想とする政治・選挙制度を選択することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 選挙への参加など主権者としての自覚を持つ。	選挙の原則と選挙制度 日本の選挙制度の仕組みと問題点 政党と民主政治・日本の政党政治地方政治のしくみ 世論とマスメディア 圧力団体と現代政治	【知識・技能】 地方自治や選挙の仕組み，政党の役割について理解できているか 【思考・判断・表現】 自分が理想とする政治・選挙制度の選択を考察することができたか。 【主体的に学習に取り組む態度】 選挙への参加など主権者としての自覚を持つことができたか。	○	○	○	7	
定期考査			○	○		1	

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知・技	思・判・表	態	配 時 数
2 学 期	D単元 国際政治の動向 【知識及び技能】 国際法や国際連合の組織と役割が理解できている。 【思考力、判断力、表現力等】 国連の現状と課題集団的安全保障について考察できている。 【学びに向かう力、人間性等】 SDGについて考え国際問題に関心を持ち解決への自らの方向性を考える。	主権国家と国際政治 国際法と領土問題 戦後の国際関係・東西の対立 多極化から冷戦の終結へ 近年の国際情勢について 現代の問題SDGs SDGsと取り組み	【知識・技能】 国際法や国際連合の組織と役割が理解できたか。 【思考・判断・表現】 国連の現状と課題集団的安全保障について考察できたか。 【主体的に学習に取り組む態度】 SDGsに関心を持ち解決への自らの方向性を考えることができたか。	○	○	○	8
	E 単元 国際政治の課題と日本の役割 【知識及び技能】 日本の平和主義と安全保障について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 国際化を身近に考え、国際社会の諸問題について判断する。 【学びに向かう力、人間性等】 国際問題について関心を持ち、その解決について主体的に追究する。	日本の安全保障 憲法と日本の防衛政策 日米安保体制の展開と変容 国際協力と自衛隊の海外派遣 軍縮への動き 核の廃絶 国際連合の組織と課題	【知識・技能】 日本の平和主義と安全保障について理解できているか。 【思考・判断・表現】 国際化を身近に考え、国際社会の諸問題について判断できている。 【主体的に学習に取り組む態度】 国際問題について関心を持ち、その解決について主体的に追究できたか。	○	○	○	8
	定期考査			○	○		1
	F 単元 経済のしくみと産業の変化 市場経済のしくみと金 【知識及び技能】 現代の経済について理解し、産業構造の変化と雇用・労働問題について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 現代の企業や国民生活の変化について考察できている。 【学びに向かう力、人間性等】 現代の経済の中で、自分の進路や職業選択を考えることができています。	国民経済と経済主体 資本主義経済の変容 企業の働きと役割 日本を支える中小企業と農業 戦後日本経済のあゆみ 産業構造の変化と職業 労働者の権利市場経済のしくみと物価 需要と供給 国民所得と経済成長 金融の役割と金融政策	【知識・技能】 現代の経済について理解し、産業構造の変化と雇用・労働問題について理解できたか。 【思考・判断・表現】 現代の企業や国民生活の変化について考察できている。 【主体的に学習に取り組む態度】 現代の経済の中で、自分の進路や職業選択を考察できている。	○	○	○	12
定期考査			○	○		1	
3 学 期	G 単元 市場経済のしくみと金融 【知識及び技能】 市場経済のメカニズムや金融のしくみが理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 需給曲線を使って、どのような場合に価格が変動するのか考察する。 【学びに向かう力、人間性等】 市場経済のメカニズムをもとに合理的な消費行動がとれている。	市場経済のしくみと物価 需要と供給 国民所得と経済成長 金融の役割と金融政策	【知識・技能】 市場経済のメカニズムや金融のしくみが理解できているか。 【思考・判断・表現】 需給曲線を使って、どのような場合に価格が変動するのか考察できているか。 【主体的に学習に取り組む態度】 市場経済のメカニズムをもとに合理的な消費行動がとれるか。	○	○	○	6
	H 単元 財政と社会保障 【知識及び技能】 財政と租税の役割や公害対策と環境保全について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 地球全体での動向を視野に入れながら公害対策と環境保全について考察できる。 【学びに向かう力、人間性等】 高齢化社会における社会保障について自らの問題としてどのような行動が必要か考えられる。	財政と租税の役割 公害対策と環境保全 高齢化社会における社会保障	【知識・技能】 財政と租税の役割や公害対策と環境保全について理解する。 【思考・判断・表現】 地球全体での動向を視野に入れながら公害対策と環境保全について考察できるか。 【主体的に学習に取り組む態度】 高齢化社会における社会保障について自らの問題としてどのような行動が必要か考えられたか。	○	○	○	4
	I 単元 国際経済の動向 【知識及び技能】 円安と円高を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 グローバル化と国際経済について自分の生活と関連させて考えられる。 【学びに向かう力、人間性等】	円安と円高 グローバル化と国際経済	【知識・技能】 円安と円高を理解できたか。 【思考・判断・表現】 グローバル化と国際経済について自分の生活と関連させて考えられるか。 【主体的に学習に取り組む態度】	○	○	○	2
定期考査			○	○		1	
備考							合計
							72

高等学校 令和7年度

教科 芸術 科目 音楽I

対象学年組： 第1学年 M組

単位数： 2 単位

教科担当者： 山中 淑江

使用教科書： 発行者 教出

教科書記号・番号 音I701

教科書名 音楽I Tutti+

教科 「芸術」 の目標

【知識及び技能】	様々な音楽活動をするための基礎的な知識や技能を身に付ける。
【思考力、判断力、表現力等】	芸術作品を愛好する心情を育成し、主体的に創意工夫をする。
【学びに向かう力、人間性等】	芸術文化に関わり、親しむ心情を育てる。

科目 「音楽I」 の目標

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
音楽の理論や構造、文化的背景などを理解し、表現するための技能を身に付ける。	課題に対して自己のイメージをもち音楽表現を創意工夫をして取り組む。	主体的、協働的に音楽活動に取り組み、音楽を愛好する心情をもって取り組む。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	表現			鑑賞	評価規準	知	思	態	配当 時数
		歌	器	創						
A 単元(器楽) 【知識及び技能】ギターの基本と、1,2弦を使って曲を練習する。 【思考力、判断力、表現力等】音色や音程の正確さに留意して演奏する。 【学びに向かう力、人間性等】音色、流れ等様々な工夫をして良い演奏をする。	・指導事項 ギターの基本 ・教材 音階 「よるこびのうた」 「聖者の行進」	○	○	○		【知識・技能】ギターの基本を習得し、曲が正確に弾けているか。 【思考・判断・表現】音色や音程の正確さに留意して演奏できているか。 【主体的に学習に取り組む態度】良い演奏をするために工夫をして取り組んでいるか。	○	○	○	8
B 単元(楽典) 【知識及び技能】1点ドから2点ドの階名読みを習得する。 【思考力、判断力、表現力等】歌唱や器楽の練習の中で読めるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】根気強く早く読めるよう努力する。	・指導事項 階名読み ・教材 プリント			○		【知識・技能】1点ドから2点ドの階名が読めるようになったか。 【思考・判断・表現】階名読みが歌唱や器楽の練習で応用できるか。 【主体的に学習に取り組む態度】根気強く取り組み、早く読めるようになったか。	○	○	○	2
定期考査										
1 学期 C 単元(歌唱) 【知識及び技能】正しい音程で正確に歌う。 【思考力、判断力、表現力等】明るい声でのびやかに歌う。 【学びに向かう力、人間性等】曲の流れを感じ取り、歌詞の内容を理解して歌う。	・指導事項 親しみ易い曲の歌唱 ・教材 「校歌」 「少年時代」等	○				【知識・技能】正しい音程やリズムで歌えているか。 【思考・判断・表現】明るい声でのびやかに歌えているか。 【主体的に学習に取り組む態度】曲の流れを感じ取り、歌詞の内容を理解しようと取り組んでいるか。	○	○	○	7
D 単元(鑑賞) 【知識及び技能】曲の構成、演奏の形態を理解して鑑賞する。 【思考力、判断力、表現力等】歴史、音楽史における作曲家や曲の時代背景を理解する。 【学びに向かう力、人間性等】メロディや響き、構成の美しさを味わう。	・指導事項 曲とミュージカルの鑑賞 ・教材 「バロック時代の音楽」 「古典派の音楽」 ミュージカル	○	○	○		【知識・技能】曲の構成や演奏の形態を理解しているか。 【思考・判断・表現】作曲家や曲の時代背景を理解して鑑賞しているか。 【主体的に学習に取り組む態度】メロディや響き、構成の美しさを味わっているか。	○	○	○	7





高等学校 令和7年度（1、2学年用）

教科

外国語

科目

英語コミュニケーションⅠ

対象学年組： 第1学年 M組

単位数： 2 単位

教科担当者： 小田桐 のり子

使用教科書： 発行者 開隆堂

教科書記号・番号 CI704

教科書名 Amity English Communication I

教科 「外国語」 の目標

【知識及び技能】	外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの理解を深めるとともに、これらの知識を、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて、目的や場面、状況などに応じて適切に活用できる技能を身につけるようにする。
【思考力、判断力、表現力等】	コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的话题や社会的な話題について、外国語で情報や考えなどの概要や要点、詳細、話し手や書き手の意図などを的確に理解したり、これらを活用して適切に表現したり伝え合ったりすることができる力を養う。
【学びに向かう力、人間性等】	外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的、自律的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。

科目 「英語コミュニケーションⅠ」 の目標

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
実際に英語を用いた言語活動を通じて、五つの領域別の目標を達成するのにふさわしいものについて理解するとともに、言語材料と言語活動とを効果的に関連付け、実施のコミュニケーションにおいて活用できる技能を身に付けている。	具体的な課題等を設定し、コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、情報を整理しながら考えなどを形成し、これらを論理的に適切な英語で表現することができる。	言語活動を行うに当たり、言語の使用場面や言語の働きの中から、五つの領域別の目標を達成するにふさわしいものを取り上げ、有機的に組み合わせ活用できる。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域				評価規準	知	思	態	配当 時数
		聞	読	話	書					
GET READY 【知識及び技能】 中学校で学習する基本的事柄(身近な英語、和製英語等)について身に付けている。 【思考力、判断力、表現力等】 身近な英語をつかって簡単な会話をを行い、自分の気持ちを伝えている。 【学びに向かう力、人間性等】 日本語と英語の違いを理解し、中学校で学習する事柄を活用して自分の気持ちを英語で伝えようとしている。	・指導事項 【言語材料】 数字、文字、品詞 【言語の働き・言語の使用場面】 質問する、共感する／学校での学習や活動、地域での活動 【言語活動】 中学校で学習する基本的な事柄を用いて自分の気持ちを伝えようとする。 ・教材(教科書、プリント等) ・一人1台端末の活用 ・ALTの活用	○	○				○	○	○	4
Lesson1 “The Beautiful Scenery” 【知識及び技能】 be動詞・一般動詞の現在形を理解し、概要や要点を捉える技能を身に付けている。 【思考力、判断力、表現力等】 be動詞・一般動詞の現在形を用いて、お気に入りの場所について、考えや気持ちを話して伝えている。 【学びに向かう力、人間性等】 be動詞・一般動詞の現在形を用いて、お気に入りの場所について、考えや気持ちを話して伝えようとしている。	・指導事項 【言語材料】 be動詞・一般動詞の現在形 【言語の働き・言語の使用場面】 質問する、理由を述べる、説明する、相づちを打つ 【言語活動】 お気に入りの場所について、やり取りしたり、まとめたものを発表したりする。 ・教材(教科書、プリント等) ・一人1台端末の活用 ・ALTの活用		○	○			○	○	○	5
定期考査							○	○		1
Lesson2 “My Best Friend” 【知識及び技能】 be動詞・一般動詞の過去形を理解し、概要や要点を捉える技術を身に付けている。 【思考力、判断力、表現力等】 be動詞・一般動詞の過去形を用いて、日常生活について、考えや気持ちを話して伝えている。 【学びに向かう力、人間性等】 be動詞・一般動詞の過去形を用いて、日常生活について、考えや気持ちを話して伝えようとしている。	・指導事項 【言語材料】 be動詞・一般動詞の過去形 【言語の働き・言語の使用場面】 質問する、理由を述べる、説明する、感謝する 【言語活動】 日常生活についてやり取りしたり、大切にしている人についてまとめて発表したりする。 ・教材(教科書、プリント等) ・一人1台端末の活用 ・ALTの活用		○	○			○	○	○	6

	Lesson3 "Love for Dance" 【知識及び技能】 進行形や助動詞を理解し、概要や要点を捉える技能を身に付けている。 【思考力、判断力、表現力等】 進行形や助動詞を用いて、提示された写真について、考えや気持ちを話して伝えている。 【学びに向かう力、人間性等】 進行形や助動詞を用いて、提示された写真について、考えや気持ちを話して伝えようとしている。	・指導事項 【言語材料】 進行形、助動詞 【言語の働き、言語の使用場面】 質問する、理由を述べる、説明する、共感する、描写する 【言語活動】 コンピュータの使い方や得意なことについてやり取りしたり、写真についてまとめて発表したりする。 ・教材（教科書、プリント等） ・一人1台端末の活用 ・ALTの活用					○	○	【知識及び技能】 進行形や助動詞について理解し、概要や要点を捉えることができる。 【思考力、判断力、表現力等】 提示された写真について、進行形や助動詞を用いて、考えや気持ちを話して伝えることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 提示された写真について、進行形や助動詞を用いて、考えや気持ちを話して伝えることができる。					○	○	○	7	
	定期考査														○	○		1
	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域 聞 読 話 話 書 [や][発]					評価規準					知	思	態	配 当 時 数		
	FOCUS+1 【知識及び技能】 be動詞・一般動詞・進行形・助動詞について理解し、技能を身に付けている。 【思考力、判断力、表現力等】 既習の文法事項を用いて、好きなスポーツ選手について紹介している。 【学びに向かう力、人間性等】 既習の文法事項を用いて、好きなスポーツ選手について紹介しようとしている。	・指導事項 【言語材料】 be動詞・一般動詞・進行形・助動詞 【言語の働き、言語の使用場面】 理由を述べる、描写する 【言語活動】 好きなスポーツ選手についてその理由とともに発表することができる。 ・教材（教科書、プリント等） ・一人1台端末の活用					○	○	【知識及び技能】 be動詞・一般動詞・進行形・助動詞について理解し、適切に使用することができる。 【思考力、判断力、表現力等】 既習の文法事項を用いて、好きなスポーツ選手について紹介できる。 【学びに向かう力、人間性等】 既習の文法事項を用いて、好きなスポーツ選手について紹介することができる。またその理由を具体的に説明することができる。					○	○		6	
	Lesson4 "Endangered Species"(Part1) 【知識及び技能】 不定詞を理解し、文章の内容について細かいところまで理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 不定詞を用いて、好きな動物について、考えや気持ちを話して伝えている。 【学びに向かう力、人間性等】 不定詞を用いて、好きな動物について、考えや気持ちを話して伝えようとしている。	・指導事項 【言語材料】 不定詞 【言語の働き、言語の使用場面】 質問する、相づちを打つ、描写する 【言語活動】 動物に関することについてやり取りしたり、好きな生き物についてまとめて発表することができる。 ・教材（教科書、プリント等） ・一人1台端末の活用 ・ALTの活用					○	○	【知識及び技能】 不定詞の仕組みを理解し、文章の内容について細かいところまで理解できる。 【思考力、判断力、表現力等】 好きな動物について、不定詞を用いて、考えや気持ちを話して伝えることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 好きな動物について、不定詞を用いて、考えや気持ちを話して伝えることができる。					○	○	○	7	
	定期考査														○	○		1
2 学 期	Lesson4 "Endangered Species"(Part2) 【知識及び技能】 不定詞を理解し、文章の内容について細かいところまで理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 不定詞を用いて、好きな動物について、考えや気持ちを話して伝えている。 【学びに向かう力、人間性等】 不定詞を用いて、好きな動物について、考えや気持ちを話して伝えようとしている。	・指導事項 【言語材料】 不定詞 【言語の働き、言語の使用場面】 理由を述べる、説明する、相づちを打つ 【言語活動】 動物に関することについてやり取りしたり、さまざまな動物についてまとめて発表することができる。 ・教材（教科書、プリント等） ・一人1台端末の活用 ・ALTの活用					○	○	【知識及び技能】 不定詞の仕組みを理解し、文章の内容について細かいところまで理解できる。 【思考力、判断力、表現力等】 好きな動物について、不定詞を用いて、考えや気持ちを話して伝えることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 好きな動物について、不定詞を用いて、考えや気持ちを話して伝えることができる。					○	○	○	6	
	Lesson5 "The History of Chocolate"(Part1) 【知識及び技能】 動名詞についてその仕組みを理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 動名詞を用いて、自分が空いた時間に行うことについて伝えている。 【学びに向かう力、人間性等】 動名詞を用いて、自分が空いた時間に行うことについて、具体的な事柄をあげながら伝えようとしている。	・指導事項 【言語材料】 動名詞 【言語の働き、言語の使用場面】 理由を述べる、説明する 【言語活動】 自分が開いている時間に行うことについて発表したり、具体的に説明することができる。 ・教材（教科書、プリント等） ・一人1台端末の活用 ・ALTの活用					○	○	【知識及び技能】 動名詞についてその仕組みを理解することができる。 【思考力、判断力、表現力等】 動名詞を用いて、自分が空いた時間に行うことについて伝えることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 動名詞を用いて、自分が空いた時間に行うことについて、具体的な事柄をあげながら伝えようすることができる。					○	○	○	7	
	定期考査														○	○		1



高等学校 令和7年度

教科 国語 科目 現代の国語

対象学年組： 第1 学年 M 組

単位数： 2 単位

教科担当者： 長谷雄 毅

使用教科書： 発行者 東書

教科書記号・番号 現国701

教科書名 新編現代の国語

教科 「国語」 の目標

【知識及び技能】	社会生活に必要な国語の特質を理解し。適切に使用できる知識・技能を身につける。
【思考力、判断力、表現力等】	社会の中で他者と関わるための伝え合う力、深く考える力、自ら表現する力を養う。
【学びに向かう力、人間性等】	言葉の持つ力を認識し、言語感覚を磨き、国語と我が国の言語文化を大切にし、自らの課題に真摯に取り組む態度を養う。

科目 「現代の国語」 の目標

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
社会生活に必要な国語の知識・技能を身につける。	文章の内容を的確に読み取り、論理的に考え、効果的に判断する力を養う。	言葉を大切にし、自らの課題に真摯に取り組む態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	内容のまとめ	評価規準	知	思	態	相当 時数
1 学 期	A 単元 他者に出会う 未来をつくる 想像力 【知識及び技能】漢字の習熟・語彙の増加・言語知識の獲得 【思考力、判断力、表現力等】単元を的確に読み取り、理解し、課題に取り組む 【学びに向かう力、人間性等】授業及び自らの課題に真摯に取り組む	・指導事項 漢字・語彙・言語知識・内容理解・課題作成・教材 教科書・プリント・資料 ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】漢字・語彙・言語知識 【思考・判断・表現】文章内容の理解 課題作文	【知識・技能】漢字や語彙の知識が身についたか 【思考・判断・表現】授業中の発問に適切に答え、課題を作成したか 【主体的に学習に取り組む態度】授業に出席し、真摯に取り組んだか	○	○	○	10
	B 単元 自己を見つめる 話す・聞く 気になるニュースについて話そう 【知識及び技能】ニュースの調べ方 【思考力、判断力、表現力等】言葉を工夫し、適切に表現する 【学びに向かう力、人間性等】授業及び自らの課題に真摯に取り組む	・指導事項 言語知識・課題作成 ・教材 教科書・プリント・資料 ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】情報収集の方法 【思考・判断・表現】発表原稿の作成	【知識・技能】表記の基本ルールは理解できたか 【思考・判断・表現】課題を作成したか 【主体的に学習に取り組む態度】授業に出席し、真摯に取り組んだか		○	○	5
	定期考査				○	○		1
	C 単元 視野を広げる スキマが育む 都市の緑と生命のつながり 【知識及び技能】漢字の習熟・語彙の増加・言語知識の獲得 【思考力、判断力、表現力等】単元を的確に読み取り、理解し、課題に取り組む 【学びに向かう力、人間性等】授業及び自らの課題に真摯に取り組む	・指導事項 漢字・語彙・言語知識・内容理解・課題作成・教材 教科書・プリント・資料 ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】漢字・語彙・言語知識 【思考・判断・表現】文章内容の理解 課題作文	【知識・技能】漢字や語彙の知識が身についたか 【思考・判断・表現】授業中の発問に適切に答え、課題を作成したか 【主体的に学習に取り組む態度】授業に出席し、真摯に取り組んだか	○	○	○	10

<p>D 単元 言葉と生活2 新聞記事を読んで意見文を書こう</p> <p>【知識及び技能】新聞記事の特徴を知る</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】言葉を工夫し、適切に表現することで、自分の考えを伝える</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】授業及び自らの課題に真摯に取り組む</p>	<p>・指導事項 言語知識・課題作成</p> <p>・教材 教科書・プリント・資料</p> <p>・一人1 台端末の活用 等</p>	<p>【知識・技能】新聞記事・情報収集の方法</p> <p>【思考・判断・表現】課題作文</p>	<p>【知識・技能】的確に情報収集ができたか</p> <p>【思考・判断・表現】課題を作成したか</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】授業に出席し、真摯に取り組んだか</p>	○	○	○	5
<p>定期考査</p>				○	○		1

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	内容のまとめり	評価規準	知	思	態	配当 時数
2 学期	E 単元 社会と関わる 森で染める人 【知識及び技能】漢字の習熟・語彙の増加・言語知識の獲得 【思考力、判断力、表現力等】単元を的確に読み取り、理解し、課題に取り組む 【学びに向かう力、人間性等】授業及び自らの課題に真摯に取り組む	・指導事項 漢字・語彙・言語知識・内容理解・課題作成 ・教材 教科書・プリント・資料 ・一人1 台端末の活用 等	【知識・技能】漢字・語彙・言語知識 【思考・判断・表現】文章内容の理解 課題作文	【知識・技能】漢字や語彙の知識が身についたか 【思考・判断・表現】授業中の発問に適切に答え、課題を作成したか 【主体的に学習に取り組む態度】授業に出席し、真摯に取り組んだか	○	○	○	15
	F 単元 【知識及び技能】 【思考力、判断力、表現力等】 【学びに向かう力、人間性等】	・指導事項 ・教材 ・一人1 台端末の活用 等	【知識・技能】 【思考・判断・表現】	【知識・技能】 【思考・判断・表現】 【主体的に学習に取り組む態度】				
	定期考査				○	○		1
	G 単元 世界とつながる りんごのほっぺ 【知識及び技能】漢字の習熟・語彙の増加・言語知識の獲得 【思考力、判断力、表現力等】単元を的確に読み取り、理解し、課題に取り組む 【学びに向かう力、人間性等】授業及び自らの課題に真摯に取り組む	・指導事項 漢字・語彙・言語知識・内容理解・課題作成 ・教材 教科書・プリント・資料 ・一人1 台端末の活用 等	【知識・技能】漢字・語彙・言語知識 【思考・判断・表現】文章内容の理解 課題作文	【知識・技能】漢字や語彙の知識が身についたか 【思考・判断・表現】授業中の発問に適切に答え、課題を作成したか 【主体的に学習に取り組む態度】授業に出席し、真摯に取り組んだか	○	○	○	10
	H 単元 社会と関わる 憧れの職業について調べ、整理してまとめる 【知識及び技能】様々な方法を使い、自分の課題について調べる。 【思考力、判断力、表現力等】言葉を工夫し、適切に資料を整理することで、自分の考えをまとめる 【学びに向かう力、人間性等】授業及び自らの課題に真摯に取り組む	・指導事項 言語知識・課題作成 ・教材 教科書・プリント・資料 ・一人1 台端末の活用 等	【知識・技能】情報収集の方法 【思考・判断・表現】課題作文	【知識・技能】的確に情報収集ができたか 【思考・判断・表現】課題を作成したか 【主体的に学習に取り組む態度】授業に出席し、真摯に取り組んだか		○	○	5
定期考査				○	○		1	
3 学期	I 単元 未来に目を向ける 真の自立とは 【知識及び技能】漢字の習熟・語彙の増加・言語知識の獲得 【思考力、判断力、表現力等】単元を的確に読み取り、理解し、課題に取り組む 【学びに向かう力、人間性等】授業及び自らの課題に真摯に取り組む	・指導事項 漢字・語彙・言語知識・内容理解・課題作成 ・教材 教科書・プリント・資料 ・一人1 台端末の活用 等	【知識・技能】漢字・語彙・言語知識 【思考・判断・表現】文章内容の理解 課題作文	【知識・技能】漢字や語彙の知識が身についたか 【思考・判断・表現】授業中の発問に適切に答え、課題を作成したか 【主体的に学習に取り組む態度】授業に出席し、真摯に取り組んだか	○	○	○	10
	J 単元 【知識及び技能】 【思考力、判断力、表現力等】 【学びに向かう力、人間性等】	・指導事項 ・教材 ・一人1 台端末の活用 等	【知識・技能】 【思考・判断・表現】	【知識・技能】 【思考・判断・表現】 【主体的に学習に取り組む態度】				
	K 単元 【知識及び技能】 【思考力、判断力、表現力等】 【学びに向かう力、人間性等】	・指導事項 ・教材 ・一人1 台端末の活用 等	【知識・技能】 【思考・判断・表現】	【知識・技能】 【思考・判断・表現】 【主体的に学習に取り組む態度】				
	定期考査				○	○		1



高等学校 令和7年度

教科 機械 科目 機械実習

対象学年組： 第1 学年 M 組

単位数： 4 単位

教科担当者： 阿部 憲一 潮田 正彦

使用教科書： 発行者 実教出版

教科書記号・番号 工業701

教科書名 工業技術基礎

教科 「機械」 の目標

【知識及び技術】	機械の各分野について体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付けるようにする。
【思考力、判断力、表現力等】	機械に関する課題を発見し、職業人に求められる倫理観を踏まえ合理的かつ創造的に解決する力を養う。
【学びに向かう力、人間性等】	職業人として必要な豊かな人間性を育み、よりよい社会の構築を目指して自ら学び、工業の発展に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。

科目 「工業技術基礎」 の目標

【知識及び技術】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
機械分野の学習活動で身に付けた技術に関わる知識を実際の作業に即して総合的に関連付けて理解するとともに、実際のものづくりの現場で活用することができる技術を身に付けるようにする。	機械分野の技術に関する課題を見いだし、単に生産性や効率だけを優先するのではなく、工業製品が社会に与える影響に責任をもち、工業に携わる者として倫理観を踏まえ科学的な根拠に基づき工業技術の進展に対応し解決する力を養う。	機械分野に関する技術の向上を目指し、実際の作業を通して自ら学ぶ態度や、工業の発展に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学期	手仕上・旋盤 【知識及び技術】 各ショップに関する要素的な内容について工業の各分野での学びを踏まえて理解するとともに、工業に携わる者として必要な技術を身に付けさせる。 【思考力、判断力、表現力等】 各ショップの分野に関する技術に着目して、工業に関する要素的な内容に関する課題を見いだすとともに解決策を考え、科学的な根拠に基づき結果を検証し改善できる態度を身に付けさせる。 【学びに向かう力、人間性等】 各ショップの分野に関する要素的な内容について自ら学び、工業の発展に主体的かつ協働的に取り組むことができる態度を身に付けさせる。	・指導事項 1. 手仕上 手仕上分野に関連する要素的な内容を扱う。 2. 旋盤 旋盤分野に関連する要素的な内容を扱う。	手仕上・旋盤 【知識及び技術】 各ショップに関する要素的な内容について工業の各分野での学びを踏まえて理解するとともに、工業に携わる者として必要な技術を身に付けている。 【思考力、判断力、表現力等】 各ショップの分野に関する技術に着目して、工業に関する要素的な内容に関する課題を見いだすとともに解決策を考え、科学的な根拠に基づき結果を検証し改善できる態度を身に付けている。 【主体的に学習に取り組む態度】 各ショップの分野に関する要素的な内容について自ら学び、工業の発展に主体的かつ協働的に取り組むことができる態度を身に付けている。	○	○	○	55
2 学期	フライス盤・板金・ガス溶接 【知識及び技術】 各ショップに関する要素的な内容について工業の各分野での学びを踏まえて理解するとともに、工業に携わる者として必要な技術を身に付けさせる。 【思考力、判断力、表現力等】 各ショップの分野に関する技術に着目して、工業に関する要素的な内容に関する課題を見いだすとともに解決策を考え、科学的な根拠に基づき結果を検証し改善できる態度を身に付けさせる。 【学びに向かう力、人間性等】 各ショップの分野に関する要素的な内容について自ら学び、工業の発展に主体的かつ協働的に取り組むことができる態度を身に付けさせる。	・指導事項 1. フライス盤 フライス盤分野に関連する要素的な内容を扱う。 2. 板金 板金分野に関連する要素的な内容を扱う。 3. ガス溶接 ガス溶接分野に関連する要素的な内容を扱う。	フライス盤・板金・ガス溶接 【知識及び技術】 各ショップに関する要素的な内容について工業の各分野での学びを踏まえて理解するとともに、工業に携わる者として必要な技術を身に付けている。 【思考力、判断力、表現力等】 各ショップの分野に関する技術に着目して、工業に関する要素的な内容に関する課題を見いだすとともに解決策を考え、科学的な根拠に基づき結果を検証し改善できる態度を身に付けている。 【主体的に学習に取り組む態度】 各ショップの分野に関する要素的な内容について自ら学び、工業の発展に主体的かつ協働的に取り組むことができる態度を身に付けている。	○	○	○	55

3 学 期	<p>アーケ溶接・鋳芸</p> <p>【知識及び技術】 各ショップに関する要素的な内容について工業の各分野での学びを踏まえて理解するとともに、工業に携わる者として必要な技術を身に付けさせる。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 各ショップの分野に関する技術に着目して、工業に関する要素的な内容に関する課題を見いだすとともに解決策を考え、科学的な根拠に基づき結果を検証し改善できる態度を身に付けさせる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 各ショップの分野に関する要素的な内容について自ら学び、工業の発展に主体的かつ協働的に取り組むことができる態度を身に付けさせる。</p>	<p>・指導事項</p> <p>1. アーク溶接 手仕上分野に関連する要素的な内容を扱う。</p> <p>2. 鋳芸 旋盤分野に関連する要素的な内容を扱う。</p>	<p>アーケ溶接・鋳芸</p> <p>【知識及び技術】 各ショップに関する要素的な内容について工業の各分野での学びを踏まえて理解するとともに、工業に携わる者として必要な技術を身に付けている。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 各ショップの分野に関する技術に着目して、工業に関する要素的な内容に関する課題を見いだすとともに解決策を考え、科学的な根拠に基づき結果を検証し改善できる態度を身に付けている。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 各ショップの分野に関する要素的な内容について自ら学び、工業の発展に主体的かつ協働的に取り組むことができる態度を身に付けている。</p>	○	○	○	30
備 考							合計 140

高等学校 令和7年度（1学年用）

教科

機械

科目

工業情報数理

対象学年組： 第1 学年 M 組

単位数： 2 単位

教科担当者： 竹谷 尚人

使用教科書： 発行者 実教

教科書記号・番号 工業719

教科書名 精選工業情報数理

教科 「機械」 の目標

【知識及び技能】	工業の各分野に携わる職業人として必要な知識を体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付ける。
【思考力、判断力、表現力等】	工業の各分野に関する課題を発見し、職業人に求められる倫理観を踏まえ合理的かつ創的に解決する力を身に付ける。
【学びに向かう力、人間性等】	工業の各分野に携わる職業人として必要な豊かな人間性を育み、よりよい社会の構築を目指して自ら学び、工業の発展に主体的かつ協働的に取り組む態度を身に付ける。

科目 「工業情報数理」 の目標

【知識及び技術】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
工業の各分野における情報技術の進展と情報の意義や役割及び数理処理の理論を理解するとともに、関連する技術を身に付ける。	情報化の進展が産業社会に与える影響に関する課題を発見し、工業に携わる者として科学的な根拠に基づき工業技術の進展に対応し解決する力を身に付ける。	工業の各分野において情報技術及び情報手段や数理処理を活用する力の向上を目指して自ら学び、工業の発展に主体的かつ協働的に取り組む態度を身に付ける。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知・技	思・判・表	態	配当 時数
<p>産業社会と情報社会</p> <p>【知識及び技術】 情報を適切に収集・分析・活用、デザインして表現することを理解し、それら利用する知識と技術を身に付ける。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 情報の適切な収集・分析・整理に関して思考・判断でき、自分の考えを表現でき、問題の発見・解決に向けて具体的に考え、お互いの意見を述べたり発表したりする力を身に付ける。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 現代社会でのコンピュータがどのような特徴をもち、どのように利用されているかなどについて関心をもち、意欲的に学習に取り組み、協働して学ぶことを身に付ける。</p>	<p>・指導事項 情報・情報処理・データ・ICTなどの用語の意味と情報化社会の利点や問題点を理解させる。</p> <p>・教材 教科書</p> <p>・1人1台端末の活用 PC教室でのPC活用及び個人タブレットの活用</p>	<p>【知識・技術】 情報を適切に収集・分析・活用、デザインして表現することを理解し、それら利用する知識と技術を習得している。</p> <p>【思考・判断・表現】 情報の適切な収集・分析・整理に関して思考・判断でき、自分の考えを表現でき、問題の発見・解決に向けて具体的に考え、お互いの意見を述べたり発表したりすることができる。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 現代社会でのコンピュータがどのような特徴をもち、どのように利用されているかなどについて関心をもち、意欲的に学習に取り組み、協働して学ぼうとしている。</p>	○	○	○	5
<p>産業技術と情報技術</p> <p>【知識及び技術】 身のまわりのどの機器にコンピュータが組み込まれ利用されているか、産業界のどの分野でコンピュータがどのように利用されているか、情報技術を利用してエネルギーを有効活用どのように利用しているを理解し、それら利用する知識と技術を身に付ける。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 コンピュータはいわゆるパソコンだけでなく、制御や通信など多くの機器に組み込まれ活用されていることを考察し発表できる力を身に付ける。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 コンピュータが家電製品など身のまわりのさまざまな機器やFA・OA、エネルギーの有効利用などに活用されていることに関心をもち、意欲的に学習に取り組み、協働して学ぶことを身に付ける。</p>	<p>・指導事項 情報化の進展により、工場・販売流通・オフィスなどにおいて、コンピュータによる自動化が作業を効率的に進めていること、エネルギー・情報などさまざまな資源を効率的に活用できるようになったことを理解させる。</p> <p>・教材 教科書</p> <p>・1人1台端末の活用 PC教室でのPC活用及び個人タブレットの活用</p>	<p>【知識・技術】 身のまわりのどの機器にコンピュータが組み込まれ利用されているか、産業界のどの分野でコンピュータがどのように利用されているか、情報技術を利用してエネルギーを有効活用どのように利用しているを理解し、それら利用する知識と技術を習得している。</p> <p>【思考・判断・表現】 コンピュータがパソコンだけでなく、制御や通信など多くの機器に組み込まれ活用されていることが考察し発表できる。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 コンピュータが家電製品など身のまわりのさまざまな機器やFA・OA、エネルギーの有効利用などに活用されていることに関心をもち、意欲的に学習に取り組み、協働して学ぼうとしている。</p>	○	○	○	5

1  
学期

<p>コンピュータの基本操作とソフトウェア</p> <p>【知識及び技術】 コンピュータ・マウス・タッチスクリーン・キーボードなどの基本的な操作の知識や技術を身に付ける。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 コンピュータの起動・終了、マウス・タッチスクリーン・キーボードの基本操作、記憶装置の取扱いなどに関心を持ち、意欲的に学習に取り組み、協働して学ぶことを身に付ける。</p>	<p>・指導事項 コンピュータの基本操作・作成したデータ保存やデータ利用に必要な補助記憶装置と取扱いについて理解させる。</p> <p>・教材 教科書</p> <p>・1人1台端末の活用 PC教室でのPC活用及び個人タブレットの活用</p>	<p>【知識・技術】 マウス・タッチスクリーン・キーボード・記憶装置などを扱う技術、ハードディスク・光ディスク・フラッシュメモリなどの特徴などの知識・技術を習得している。</p> <p>【思考・判断・表現】</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 コンピュータの起動・終了、マウス・タッチスクリーン・キーボードの基本操作、記憶装置の取扱いなどに関心を持ち、意欲的に学習に取り組み、協働して学ぼうとしている。</p>	○	○	○	3
<p>アプリケーションソフトウェア①</p> <p>【知識及び技術】 アプリケーションソフトウェアの特徴の違いや機能、基本的な操作などの技術・情報の種類によって適切なアプリケーションソフトウェアを選択して使いこなす技術を身に付ける。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 アプリケーションソフトウェアについて思考・判断でき、自分の考える情報をデザインしを表現できる力を身に付ける。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 アプリケーションソフトウェアに関心を持ち、意欲的に学習に取り組み、協働して学ぶことを身に付ける。</p>	<p>・指導事項 日本語ワードプロセッサソフトウェアと関連するソフトウェアについて操作使用方法を理解させる。</p> <p>・教材 教科書</p> <p>・1人1台端末の活用 PC教室でのPC活用及び個人タブレットの活用</p>	<p>【知識・技術】 アプリケーションソフトウェアの特徴の違いや機能、基本的な操作などの技術・情報の種類によって適切なアプリケーションソフトウェアを選択して使いこなす技術を習得している。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 アプリケーションソフトウェアについて思考・判断でき、自分の考える情報をデザインしを表現できる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 アプリケーションソフトウェアに関心を持ち、意欲的に学習に取り組み、協働して学ぼうとしている。</p>	○	○	○	11
<p>定期考査を実施する。</p>	<p>ノート・コンピュータ演習・課題レポートの提出</p>	<p>提出物評価、学習取組状況評価、総合評価をおこなう。</p>				

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知・技	思・判・表	態	配当 時数
2 学 期	アプリケーションソフトウェア② 【知識及び技術】 アプリケーションソフトウェアの特徴の違いや機能、基本的な操作などの技術・情報の種類によって適切なアプリケーションソフトウェアを選択して使いこなす技術を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】 アプリケーションソフトウェアについて思考・判断でき、自分の考える情報をデザインしを表現できる力を身に付ける。 【学びに向かう力、人間性等】 アプリケーションソフトウェアに関心をもち、意欲的に学習に取り組み、協働して学ぶことを身に付ける。	・指導事項 主に表計算ソフトウェアと関連するソフトウェアについて操作使用方法を理解させる。 ・教材 教科書 ・1人1台端末の活用 PC教室でのPC活用及び個人タブレットの活用	【知識・技術】 アプリケーションソフトウェアの特徴の違いや機能、基本的な操作などの技術・情報の種類によって適切なアプリケーションソフトウェアを選択して使いこなす技術を習得している。 【思考力、判断力、表現力等】 アプリケーションソフトウェアについて思考・判断でき、自分の考える情報をデザインしを表現できる。 【学びに向かう力、人間性等】 アプリケーションソフトウェアに関心をもち、意欲的に学習に取り組み、協働して学ぼうとしている。	○	○	○	11
	アプリケーションソフトウェア③ 【知識及び技術】 アプリケーションソフトウェアの特徴の違いや機能、基本的な操作などの技術・情報の種類によって適切なアプリケーションソフトウェアを選択して使いこなす技術を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】 アプリケーションソフトウェアについて思考・判断でき、自分の考える情報をデザインしを表現できる力を身に付ける。 【学びに向かう力、人間性等】 アプリケーションソフトウェアに関心をもち、意欲的に学習に取り組み、協働して学ぶことを身に付ける。	・指導事項 日本語ワードプロセッサと表計算ソフトウェア以外の操作使用方法を理解させる。 ・教材 教科書 ・1人1台端末の活用 PC教室でのPC活用及び個人タブレットの活用	【知識・技術】 アプリケーションソフトウェアの特徴の違いや機能、基本的な操作などの技術・情報の種類によって適切なアプリケーションソフトウェアを選択して使いこなす技術を習得している。 【思考力、判断力、表現力等】 アプリケーションソフトウェアについて思考・判断でき、自分の考える情報をデザインしを表現できる。 【学びに向かう力、人間性等】 アプリケーションソフトウェアに関心をもち、意欲的に学習に取り組み、協働して学ぼうとしている。	○	○	○	11
	プログラムとアルゴリズム 【知識及び技術】 機械語・アセンブラ言語・高水準言語、プログラムの作成手順、流れ図、簡単なプログラム作成のための知識と技術を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】 【学びに向かう力、人間性等】 コンピュータへの命令に必要な言語に興味をもち、プログラムの作成手順、流れ図、プログラミンに関心をもち、意欲的に学習に取り組み、協働して学ぶことを身に付ける。	・指導事項 プログラム言語の種類、問題解決の手段としてのアルゴリズムやプログラムの作成、順次・選択・繰返の基本的な流れ図と構造化プログラミングの意義について理解させる。 ・教材 教科書 ・1人1台端末の活用 PC教室でのPC活用及び個人タブレットの活用	【知識・技術】 機械語・アセンブラ言語・高水準言語、プログラムの作成手順、流れ図、簡単なプログラム作成のための知識と技術を習得している。 【思考・判断・表現】 【主体的に学習に取り組む態度】 コンピュータへの命令に必要な言語に興味をもち、プログラムの作成手順、流れ図、プログラミンに関心をもち、意欲的に学習に取り組み、協働して学ぼうとしている。	○	○	○	5
	プログラミング 【知識及び技術】 BASICの簡単なプログラムを作成し、コンピュータに入力、結果を出力、組込み関数、順次・選択・繰返処理のアルゴリズムと使用する命令について理解し、知識と技術を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】 インタプリタとコンパイラの違い、流れ図から処理の流れ、簡単なプログラムから結果の出力などを考察し発表できる力を身に付ける。 【学びに向かう力、人間性等】 基本的な命令を理解し、簡単なプログラムに関心をもち、意欲的に学習に取り組み、協働して学ぶことを身に付ける。	・指導事項 BASICの特徴、簡単なプログラム作成、データの出力、データの入力、関数の計算、選択処理、繰返処理について理解させる。 ・教材 教科書 ・1人1台端末の活用 PC教室でのPC活用及び個人タブレットの活用	【知識・技術】 BASICの簡単なプログラムを作成し、コンピュータに入力、結果を出力、組込み関数、順次・選択・繰返処理のアルゴリズムと使用する命令について理解し、知識と技術を習得している。 【思考・判断・表現】 インタプリタとコンパイラの違い、流れ図から処理の流れ、簡単なプログラムから結果の出力などを考察し発表できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 基本的な命令を理解し、簡単なプログラムに関心をもち、意欲的に学習に取り組み、協働して学ぼうとしている。	○	○	○	5
	定期考査を実施する。	ノート・コンピュータ演習・課題レポートの提出	提出物評価、学習取組状況評価、総合評価をおこなう。				
	ハードウェア 【知識及び技術】 処理装置や周辺装置、2・10・16進数、文字・音・静止画像・動画像の情報、データ圧縮・伸長、AND・OR・NOT・NAND・NOR・EX-OR回路、理解し、それら利用する知識と技術を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】 利用目的に応じた適切な周辺装置の選択、字・音・静止画像・動画像の情報と人の感覚の関係を考察し発表できる力を身に付ける。 【学びに向かう力、人間性等】 処理装置と周辺装置、2・10・16進数、文字・音・静止画像・動画像の情報、基本論理回路などに関心をもち、意欲的に学習に取り組み、協働して学ぶことを身に付ける。	・指導事項 コンピュータの構成、処理装置の動作、入出力・補助記憶装置、データの表し方、文字・音・静止画像・動画像のデジタル化、論理回路の基本について理解させる。 ・教材 教科書 ・1人1台端末の活用 PC教室でのPC活用及び個人タブレットの活用	【知識・技術】 処理装置や周辺装置、2・10・16進数、文字・音・静止画像・動画像の情報、データ圧縮・伸長、AND・OR・NOT・NAND・NOR・EX-OR回路、理解し、それら利用する知識と技術を習得している。 【思考・判断・表現】 利用目的に応じた適切な周辺装置の選択、字・音・静止画像・動画像の情報と人の感覚の関係を考察し発表できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 処理装置と周辺装置、2・10・16進数、文字・音・静止画像・動画像の情報、基本論理回路などに関心をもち、意欲的に学習に取り組み、協働して学ぼうとしている。	○	○	○	5

3 学期	<p>ネットワーク</p> <p>【知識及び技術】 データ通信システムと情報通信ネットワークの概要、FTTH・ADSL・CATV・ブロードバンド・公衆無線LANなどのインターネット接続の概要、伝送制御方式、HTTP・SMTP・POP・FTPなどを理解し、それら利用する知識と技術を身に付ける。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 インターネット接続について適切な方式の選択、ネットワークに使用されている機器を判断し、構成を説明できる力を身に付ける。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 データ通信・ネットワークの概要、インターネット接続・ネットワーク、ネットワークに使用する機器やプロトコルに関心をもち、意欲的に学習に取り組み、協働して学ぶことを身に付ける。</p>	<p>・指導事項 コンピュータネットワークを利用した情報交換、コンピュータネットワークに必要な通信技術や技術的な約束事、コンピュータネットワークを停止させずに安全に利用する方法について理解させる。</p> <p>・教材 教科書</p> <p>・一人1台端末の活用 PC教室でのPC活用及び個人タブレットの活用</p>	<p>【知識・技術】 データ通信システムと情報通信ネットワークの概要、FTTH・ADSL・CATV・ブロードバンド・公衆無線LANなどのインターネット接続の概要、伝送制御方式、HTTP・SMTP・POP・FTPなどを理解し、それら利用する知識と技術を習得している。</p> <p>【思考・判断・表現】 インターネット接続について適切な方式の選択、ネットワークに使用されている機器を判断し、構成を説明できる。</p> <p>・家庭のインターネット接続について適切な方式を選択し提案できる。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 データ通信・ネットワークの概要、インターネット接続・ネットワーク、ネットワークに使用する機器やプロトコルに関心をもち、意欲的に学習に取り組み、協働して学ぼうとしている。</p>	○	○	○	3
	<p>コンピュータ制御と数値処理</p> <p>【知識及び技術】 コンピュータ制御の概要、組込み技術の概要、組立単位が固有の記号の組合、実験データとグラフ化などを理解しそれら利用する知識と技術を身に付ける。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 量の名称・量記号・単位(SI)について説明でき、実験データのグラフ化し、解析する力を身に付ける。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 コンピュータ制御の概要、組込み技術の概要、組立単位が固有の記号の組合、実験データとグラフ化などに関心をもち、意欲的に学習に取り組み、協働して学ぶことを身に付ける。</p>	<p>・指導事項 コンピュータ制御の考え方、量の名称・量記号・単位(SI)について、理解させる。</p> <p>・教材 教科書</p> <p>・一人1台端末の活用 PC教室でのPC活用及び個人タブレットの活用</p>	<p>【知識・技術】 コンピュータ制御の概要、組込み技術の概要、組立単位が固有の記号の組合、実験データとグラフ化などを理解しそれら利用する知識と技術を習得している。</p> <p>【思考・判断・表現】 量の名称・量記号・単位(SI)について説明でき、実験データのグラフ化し、解析することできる。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 コンピュータ制御の概要、組込み技術の概要、組立単位が固有の記号の組合、実験データとグラフ化などに関心をもち、意欲的に学習に取り組み、協働して学ぼうとしている。</p>	○	○	○	6
	<p>定期考査を実施する。</p>	<p>ノート・コンピュータ演習・課題レポートの提出</p>	<p>提出物評価、学習取組状況評価、総合評価をおこなう。</p>				
備考							合計
							70

高等学校 令和7年度

教科 数学 科目 数学I

対象学年組： 第1学年 M組

単位数： 2 単位

教科担当者： 高木 俊哉

使用教科書： 発行者 第一

教科書記号・番号 数1718・719

教科書名 新編数学I 新編数学I サポートブック

教科 「数学」 の目標

【知識及び技能】	数学における基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付ける。
【思考力、判断力、表現力等】	数学を活用して事象を論理的に考察する力、事象の本質や他の事象との関係を認識し統合的・発展的に考察する力、数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現する力を養う。
【学びに向かう力、人間性等】	数学のよさを認識し積極的に数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。

科目 「数学I」 の目標

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
数と式、図形と計量、二次関数及びデータの分析についての基本的な概念や、原理・法則を体系的に理解するとともに事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。	数や式を多面的にみたり目的に応じて適切に変形したりする力、図形の構成要素間の関係に着目し、図形の性質や計量について論理的に考察し表現する力、関数関係に着目し、事象を的確に表現してその特徴を表、式、グラフを相互に関連付けて考察する力、社会的事象などから設定した問題について、データの散らばりや、変量間の関係などに着目し、適切な手法を選択して分析を行い、問題を解決したり、解決の過程や結果を考察し判断したりする力を養う。	数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知・技	思・判・表	態	配当 時数
1 学 期	1章 式の展開 【知識及び技能】 文字を含む式の表し方や見方を理解し、文字を用いて数量を表すことができるようになる。同類項の整理や、整式の和や差の計算方法を理解する。乗法公式を利用して、いろいろな整式の乗法ができるようになる。 【思考力、判断力、表現力等】 展開公式を導く過程を考察しようとする。 式の形の特徴をとらえ、展開を見通しよく行う手段を見出そうとする。 【学びに向かう力、人間性等】 整式の計算においても、数の計算と同様な法則(交換, 結合, 分配)が成り立つことに気づき、整式の展開などにおいて、その法則を活用しようとする。式の一部を1つの文字でおきかえたり、整式を1つの文字について整理したりすることで、展開を見通しよく行おうとする	・指導事項 文字式の表し方、見方 同類項の整理、整式の和・差の計算 乗法公式を展開から導く 乗法公式の利用 ・教材 教科書・ワークシート等 一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 1つの文字に着目して式を整理することができる。 同類項を整理して、整式の和・差の計算方法を理解し、計算することができる。 乗法公式を利用して、いろいろな整式の乗法ができる。 【思考・判断・表現】 展開公式を導く過程を考察することができる。 式の形の特徴をとらえ、展開を見通しよく行う手段を見出そうとする。 【主体的に学習に取り組む態度】 整式の計算においても、数の計算と同様な法則(交換, 結合, 分配)が成り立つことに気づき、整式の展開などにおいて、その法則を活用することができる。 式の一部を1つの文字でおきかえたり、整式を1つの文字について整理したりすることで、展開を見通しよく行うことができる。	○	○	○	8
	定期考査			○	○	○	1
	1章 因数分解 【知識及び技能】 因数分解の式を適切に用いて計算をすることができるようになる。 【思考力、判断力、表現力等】 因数分解を、展開の逆の演算とみることができるようになる。式の形の特徴をとらえ、因数分解を見通しよく行う手段を見出すことができるようになる。 【学びに向かう力、人間性等】 式の一部を1つの文字でおきかえたり、整式を1つの文字について整理したりすることで、因数分解を見通しよく行おうとする。	・指導事項 いろいろな因数分解 式の一部を1つの文字で置き換え乗法公式を利用して式を展開する 式の一部を1つの文字で置き換え因数分解の式を利用して式を因数分解する 3次の乗法公式を2次の公式から導き、利用する 3次の乗法公式を利用して、3次式の因数分解をする ・教材 教科書・ワークシート等 一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 適切な手段によって、整式を因数分解することができる。 【思考・判断・表現】 因数分解を、展開の逆の演算とみることができる。 式の形の特徴をとらえ、因数分解を見通しよく行う手段を見出すことができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 式の一部を1つの文字でおきかえたり、整式を1つの文字について整理したりすることで、因数分解を見通しよく行おうとすることができる。	○	○	○	11
定期考査			○	○	○	1	

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知・技	思・判・表	態	配当 時数
	<p>1章 数と式 2節 実数</p> <p>【知識及び技能】 数の分類や演算の可能性、数の集合の包含関係について理解する。循環小数の表し方を理解し、有理数と循環小数を相互に変換することができる。絶対値の定義を理解し、絶対値の値を求めることができるようになる。平方根の定義や性質を理解する。平方根を含む式の値を求めたり、式を簡単にしたりすることができるようになる。分母の有理化ができるようになる。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 循環小数を分数で表す方法について考察することができる。絶対値を、数直線上のある点と原点との距離と解釈することができる。分母の有理化において、分母と分子に掛ける数を、式の形から判断することができるようになる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 数の体系や演算の可能性に関心をもち、調べてみようとする。根号内が同じ平方根を1つの文字と見なすことで整式における計算法則や公式が利用できることに気づき、平方根を含む式の計算において、そのことを活用しようとするようになる。</p>	<p>・指導事項 数の世界と演算の可能性を広げる 分数から循環小数への計算 循環小数から分数への計算 絶対値の定義と計算 平方根の計算 分母の有理化</p> <p>・教材 教科書・ワークシート等 一人1台端末の活用 等</p>	<p>【知識・技能】 循環小数を分数で表す方法について考察することができる。 絶対値の定義を理解し、絶対値の値を求めることができる。 平方根を含む式の値を求めたり、式を簡単にしたりすることができる。 分母の有理化ができる</p> <p>【思考・判断・表現】 循環小数を分数で表す方法について考察することができる。 絶対値を、数直線上のある点と原点との距離と解釈することができる。 分母の有理化において、分母と分子に掛ける数を、式の形から判断することができる。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 数の体系や演算の可能性に関心をもち、主体的に調べることができる。 根号内が同じ平方根を1つの文字と見なすことで整式における計算法則や公式が利用できることに気づき、平方根を含む式の計算において、そのことを活用しようとするようになる。</p>	○	○	○	11
	定期考査			○	○	○	1
2 学 期	<p>1章 数と式 3節 1次不等式</p> <p>【知識及び技能】 不等式の意味について理解し、数量の大小関係を不等式で表すことができるようになる。不等式の解の意味を理解し、解を数直線上に表すことができるようになる。不等式の性質を理解し、その性質を用いて2つの数の大小を比較したり、1次不等式を解いたりすることができるようになる。複数の1次不等式を組み合わせた連立不等式を解くことができるようになる。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 不等式の解を数直線上の点の集合としてとらえ、文章題に答えたり連立不等式の解を求めたりする場面で、その解釈を適切に活用することができるようになる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 不等式の性質に関心をもち、数や式の大小比較において、そのことを活用しようとするようになる。数量の大小関係を不等式で表すことに関心をもち、不等式の解を求めようとするようになる。</p>	<p>・指導事項 不等式の意味や解 不等式の性質 1次不等式の解法 連立不等式の解法</p> <p>・教材 教科書・ワークシート等 一人1台端末の活用 等</p>	<p>【知識・技能】 不等式の意味について理解し、数量の大小関係を不等式で表すことができる。不等式の解の意味を理解し、解を数直線上に表すことができる。不等式の性質を理解し、その性質を用いて2つの数の大小を比較したり、1次不等式を解いたりすることができる。複数の1次不等式を組み合わせた連立不等式を解くことができる。</p> <p>【思考・判断・表現】 不等式の解を数直線上の点の集合としてとらえ、文章題に答えたり連立不等式の解を求めたりする場面で、その解釈を適切に活用することができる。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 不等式の性質に関心をもち、数や式の大小比較において、そのことを活用しようとする。 数量の大小関係を不等式で表すことに関心をもち、不等式の解を求めようとする。</p>	○	○	○	14
	定期考査			○	○	○	1

3 学 期	<p>2章 2次関数</p> <p>1節 2次関数とそのグラフ</p> <p>【知識及び技能】 関数の概念や、定義域、値域について理解する。関数関係を式の形で表すことができるようにする。関数の値を求めることができるようにする。<math>y=ax^2</math>、およびそれを平行移動したグラフについて、形状や性質を理解し、グラフをかくことができるようにする。2次式の平方完成ができるようにする。<math>y=ax^2+bx+c</math>のグラフをかくことができるようにする。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 2つの放物線の位置関係を、頂点の移動に基づいて考察したり説明したりすることができるようにする。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 関数関係をグラフで表すと、関数の性質が直観的にとらえやすくなることに気づき、そのことを利用して、いろいろな関数の特徴を主体的に調べることができるようにする。対称性など、放物線の形状の特徴に関心を持ち、放物線のいろいろな性質を主体的に調べることができるようにする。</p>	<p>・指導事項 関数の定義 1次関数とグラフ 2次関数とグラフ</p> <p>・教材 教科書・ワークシート等</p> <p>・一人1台端末の活用 等</p>	<p>【知識・技能】 関数の概念や、定義域、値域について理解する。 関数関係を式の形で表すことができる。 関数の値を求めることができる。 <math>y=ax^2</math>、およびそれを平行移動したグラフについて、形状や性質を理解し、グラフをかくことができる。 2次式の平方完成ができる。 <math>y=ax^2+bx+c</math>のグラフをかくことができる。</p> <p>【思考・判断・表現】 2つの放物線の位置関係を、頂点の移動に基づいて考察したり説明したりすることができる。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 関数関係をグラフで表すと、関数の性質が直観的にとらえやすくなることに気づき、そのことを利用して、いろいろな関数の特徴を主体的に調べることができる。 対称性など、放物線の形状の特徴に関心を持ち、放物線のいろいろな性質を主体的に調べることができる。</p>	○	○	○	13
	定期考査			○	○	○	1
備考							合計
							61

高等学校 令和7年度（1学年用）

教科 保健体育 科目 体育

対象学年組： 第 1 学年 M 組

単位数： 2 単位

教科担当者： 鈴木 悠太

使用教科書： 発行者 大修館

教科書記号・番号 保体701

教科書名 現代高等保健体育

教科 「保健体育」 の目標

【知識及び技能】	各種の運動の特性に応じた技能等及び社会生活における健康・安全について理解するとともに、技能を身に付けるようにする。
【思考力、判断力、表現力等】	運動や健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝える力を養う。
【学びに向かう力、人間性等】	生涯にわたって継続して運動に親しむとともに健康の保持増進と体力の向上を目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養う。

科目 「体育」 の目標

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
運動の合理的・計画的な実践を通して、運動の楽しさや喜びを深く味わい、生涯にわたって運動を豊かに継続することができるようにするため、運動の多様性や体力の必要性について理解するとともに、技能を身に付けるようにする。	生涯にわたって運動を豊かに継続するための課題を発見し、合理的・計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝える力を養う。	運動における競争や協働の経験を通して、公正に取り組む、互いに協力する、自己の責任を果たす、参画する、一人一人の違いを大切にしようとするなどの意欲を育てるとともに、健康・安全を確保して、生涯にわたって継続して運動に親しむ態度を養う。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知・技	思・判・表	態	配当 時数
<b>A 体づくり運動</b> <b>【知識及び技能】</b> 次の運動を通して、体を動かす楽しさや心地よさを味わい、運動を継続する意義、体の構造、運動の原則を理解するとともに、健康の保持増進や体力の向上を目指すことができるようにする。 ア 体ほぐしの運動では、手軽な運動を行い、心と体は互いに影響し変化することや心身の状態に気付き、仲間と自主的に関わり合うことができるようにする。 <b>【思考力、判断力、表現力等】</b> 自己や仲間の課題を発見し、運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えることができるようにする。 <b>【学びに向かう力、人間性等】</b> 体づくり運動に自主的に取り組むとともに、健康・安全を確保することができるようにする。	(ア)体ほぐしの運動 ・のびのびとした動作で用具などを用いた運動 ・リズムに乗って心が弾むような運動 ・緊張したり緊張を解いて脱力したりする運動 ・いろいろな条件で、歩いたり走ったり飛び跳ねたりする運動 ・仲間と協力して課題を達成するなど、集団で挑戦するような運動 ・教材：教科書、学習カード ・一人1台端末の活用：映像資料や学習カード等を各自の端末に配信するとともに、作成したデータをポートフォリオとして蓄積し今後の学習に活用する。	<b>【知識・技能】</b> ・定期的・計画的に運動を継続することは、心身の健康、健康や体力の保持増進につながる意義があることについて、言ったり書き出したりしている。 ・運動を安全に行うには、関節への負荷がかかりすぎないようにすることや軽い運動から始めるなど、徐々に筋肉を温めてから行うことについて、言ったり書き出したりしている。 <b>【思考・判断・表現】</b> ・ねらいや体力の程度を踏まえ、自己や仲間の課題に応じた強度、時間、回数、頻度を設定している。 ・体力の程度や性別等の違いに配慮して、仲間とともに体づくり運動を楽しむための活動の方法や修正の仕方を見付けている。 <b>【主体的に学習に取り組む態度】</b> ・体づくり運動の学習に自主的に取り組もうとしている。 ・健康・安全を確保している。	○	○	○	10
<b>C 陸上競技</b> <b>【知識及び技能】</b> (1) 次の運動について、記録の向上や競争の楽しさや喜びを味わい、技術の名称や行い方、体力の高め方を理解するとともに、各種目特有の技能を身に付けることができるようにする。 ア 短距離走・リレーでは、中間走へのつなぎを滑らかにして速く走ること、ハードル走では、スピードを維持した走りからハードルを低く越すことができるようにする。 <b>【思考力、判断力、表現力等】</b> 動きなどの自己や仲間の課題を発見し、運動の取り組み方を工夫するとともに、自己の考えたことを他者に伝えることができるようにする。 <b>【学びに向かう力、人間性等】</b> 陸上競技に自主的に取り組むとともに、一人一人の違いに応じた課題や挑戦を大切にしようとするなどや、健康・安全を確保することができるようにする。	(ア)短距離走・リレー (ウ)ハードル走 ・教材：教科書、学習カード ・一人1台端末の活用：映像資料や学習カード等を各自の端末に配信するとともに、作成したデータをポートフォリオとして蓄積し今後の学習に活用する。	<b>【知識】</b> ・陸上競技の各種目で用いられる技術の名称があり、それぞれの技術には、記録の向上につながる重要な動きのポイントがあることについて、学習した具体例を挙げている。 ・技術と関連させた運動や練習を繰り返したり、継続して行ったりすることで、結果として体力を高めることができることについて、言ったり書き出したりしている。 <b>【技能】</b> ・スタートダッシュでは地面を力強くキックして、徐々に上体を起こしていき加速することができる。 ・スタートダッシュから1台目のハードルを勢いよく走り越すことができる。 <b>【思考・判断・表現】</b> ・自己や仲間の技術的な課題やその課題解決に有効な練習方法の選択について、自己の考えを伝えていく。 <b>【主体的に学習に取り組む態度】</b> ・陸上競技の学習に自主的に取り組もうとしている。 ・一人一人の違いに応じた課題や挑戦を大切にしようとする。	○	○	○	10

1 学期	<p>エ 球技 ウ ベースボール型 「ソフトボール」</p> <p>【知識及び技能】 (1) 次の運動について、勝敗を競う楽しさや喜びを味わい、技術の名称や行い方、体力の高め方、運動観察の方法などを理解するとともに、(作戦に応じた技能で仲間と連携しゲームを展開する)ことができるようにする。</p> <p>ウ ベースボール型では、安定したバット操作と走塁での攻撃、ボール操作と連携した守備などによって攻防をすることができるようにする。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 攻防などの自己やチームの課題を発見し、(合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに)、自己や仲間の考えたことを他者に伝えることができるようにする。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 球技に自主的に取り組むとともに、(フェアなプレイを大切にしようとする)、(作戦などについての話合いに貢献しようとする)、一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようとする、(互いに助け合い教え合おうと</p>	<p>ウ ソフトボール</p> <p>・教材：教科書、学習カード ・一人1台端末の活用：映像資料や学習カード等を各自の端末に配信するとともに、作成したデータをポートフォリオとして蓄積し今後の学習に活用する。</p>	<p>【知識】 ・球技の各型の各種目において用いられる技術や戦術、作戦には名称があり、それらを身に付けるためのポイントがあることについて、学習した具体例を挙げている。</p> <p>【技能】 ・タイミングを合わせてボールを捉えることができる。 ・ねらった方向にボールを打ち返すことができる。 ・ねらった方向へステップを踏みながら、一連の動きでボールを投げるができる。</p> <p>【思考・判断・表現】 ・自己や仲間の技術的な課題やチームの作戦・戦術についての課題や課題解決に有効な練習方法の選択について、自己の考えを伝えている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・ソフトボールの学習に自主的に取り組もうとしている。 ・一人一人の違いに応じた課題や挑戦及び修正などを大切にしようとしている。 健康・安全を確保している。</p>	○	○	○	10
	<p>ハ 体育理論「1 スポーツの文化的特性や現代のスポーツの発展」</p> <p>【知識及び技能】 ・スポーツは、人類の歴史とともに始まり、その理念が時代にに応じて多様に変容してきていること、また、我が国から世界に普及し、発展しているスポーツがあることを理解することができる。</p> <p>・現代のスポーツは、オリンピックやパラリンピック等の国際大会を通して、国際親善や世界平和に大きな役割を果たし、共生社会の実現にも寄与していること、また、ドーピングは、フェアプレイの精神に反するなど、能力の限界に挑戦するスポーツの文化的価値を失わせることを理解することができる。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 ・スポーツの歴史的発展と多様な変化や現代のスポーツの意義や価値について、事実や理念を整理したり、自己のスポーツへの関わりを見いだしたりして、自己や社会にスポーツがもたらす影響について課題を発見することができるようにする。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 スポーツの文化的特性や現代スポーツの発展についての学習に、自主的に取り組もうとすることができるようにする。</p>	<p>(ア)スポーツの歴史的発展と多様な変化 (イ)現代のスポーツの意義や価値</p> <p>・教材：教科書、学習カード ・一人1台端末の活用：映像資料や学習カード等を各自の端末に配信するとともに、作成したデータをポートフォリオとして蓄積し今後の学習に活用する。</p>	<p>【知識・技能】 スポーツは、人類の歴史とともに世界各地で日常の遊びや生活などから生まれてきたこと、近代になって、スポーツは娯楽から競技に変化し、一般の人びとに広がっていったこと、現代では、競技だけでなく、広く身体表現や身体活動を含む概念としてスポーツが用いられるようになってきており、その理念が時代にに応じて多様に変容してきていることについて、言ったり書き出したりしている。また、近年では、我が国から世界に普及し、発展しているスポーツがあり、日本の文化の発信に貢献していることについて、言ったり書き出したりしている。現代のスポーツは、国際親善や世界平和に大きな役割を果たしており、その代表的なものにオリンピックやパラリンピック等の国際大会があることについて、言ったり書き出したりしている。オリンピックムーブメントは、オリンピック競技大会を通じて、人々の友好を深め世界の平和に貢献しようとするものであること、また、パラリンピック等の国際大会が、障害の有無等を超えてスポーツを楽しむことができる共生社会の実現に寄与していることについて、言ったり書き出したりしている。</p> <p>【思考・判断・表現】 ・スポーツの歴史的発展と多様な変化や現代のスポーツの意義や価値について、事実や理念を整理したり、自己のスポーツへの関わりを見いだしたりして、自己や社会にスポーツがもたらす影響について課題を発見している。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p>	○	○	○	2

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知・技	思・判・表	態	配当 時数
2 学 期	E 球技 イ ネット型 「バドミントン」 【知識及び技能】 (1) 次の運動について、勝敗を競う楽しさや喜びを味わい、技術の名称や行い方、体力の高め方、運動観察の方法などを理解する(とともに)、(作戦に応じた技能で仲間と連携しゲームを展開することができるようにする。 イネット型では、役割に応じたボール操作や安定した用具の操作と連携した動きによって空いた場所をめぐる攻防をすることができるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 ・攻防などの自己やチームの課題を発見し、(合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに)、自己や仲間の考えたことを他者に伝えることができるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 ・球技に自主的に取り組むとともに、(フェアなプレイを大切にしようとする)、(作戦などについて)の話し合いに貢献しようとする、(一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようとする)、(互いに助け合い教え合おうと	イ バドミントン ・教材：教科書、学習カード ・一人1台端末の活用：映像資料や学習カード等を各自の端末に配信するとともに、作成したデータをポートフォリオとして蓄積し今後の学習に活用する。	【知識】 ・球技の各型の各種目において用いられる技術や戦術、作戦には名称があり、それらを身に付けるためのポイントがあることについて、学習した具体例を挙げている。 ・戦術や作戦に応じて、技能をゲーム中に適切に発揮することが攻防のポイントであることについて、学習した具体例を挙げている。 【技能】 ・サービスでは、シャトルをねらった場所に打つことができる。 ・シャトルを相手側のコートに空いた場所やねらった場所に打ち返すことができる。 ・腕やラケットを強く振って、ネットより高い位置から相手側のコートに打ち込むことができる。 【思考・判断・表現】 ・バドミントンについて、合理的な動きと自己や仲間の動きを比較して、成果や改善すべきポイントとその理由を仲間に伝えている。 ・体力や技能の程度、性別等の違いに配慮して、仲間とともに球技を楽しむための活動の方法や修正の仕方を見つけている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・バドミントンの学習に自主的に取り組もうとしている。 ・一人一人の違いに応じた課題や挑戦及び修正など	○	○	○	16
	E 球技 ア ゴール型 「サッカー」 【知識及び技能】 (1) 次の運動について、勝敗を競う楽しさや喜びを味わい、(技術の名称や行い方、体力の高め方、運動観察の方法などを理解するとともに)、(作戦に応じた技能で仲間と連携しゲームを展開することができるようにする。 アゴール型では、安定したボール操作と空間を作り出すなどの動きによってゴール前への侵入などから攻防をすることができるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 ・攻防などの自己やチームの課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、(自己や仲間の考えたことを他者に伝える)ことができるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 ・サッカーに自主的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にしようとする、作戦などについて話し合いに貢献しようとする、(一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようとする)	ア サッカー ・教材：教科書、学習カード ・一人1台端末の活用：映像資料や学習カード等を各自の端末に配信するとともに、作成したデータをポートフォリオとして蓄積し今後の学習に活用する。	【知識】 ・戦術や作戦に応じて、技能をゲーム中に適切に発揮することが攻防のポイントであることについて、学習した具体例を挙げている。 【技能】 ・味方が操作しやすいパスを送ることができる。 ・ゴール前に広い空間を作り出すために、守備者を引きつけてゴールから離れることができる。 ・パスを出した後に次のパスを受ける動きをすることができる。 【思考・判断・表現】 ・サッカーの合理的な動きと自己や仲間の動きを比較して、成果や改善すべきポイントとその理由を仲間に伝えている。 ・チームで分担した役割に関する成果や改善すべきポイントについて、自己の活動を振り返っている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・サッカーの学習に自主的に取り組もうとしている。 ・相手を尊重するなどのフェアなプレイを大切にしようとしている。 ・作戦などについて話し合いに貢献しようとしている。 ・健康・安全を確保している。	○	○	○	10
	H 体育理論「1スポーツの文化的特性や現代のスポーツの発展」 【知識及び技能】 ・現代のスポーツは、経済的な波及効果があり、スポーツ産業が経済の中で大きな影響を及ぼしていること。また、スポーツの経済的な波及効果が高まるにつれ、スポーツの高潔さなどが一層求められることを理解できるようにする。 ・スポーツを行う際は、スポーツが環境や社会にもたらす影響を考慮し、多様性への理解や持続可能な社会の実現に寄与する責任ある行動が求められることを理解できるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 ・スポーツの歴史的発展と多様な変化や現代のスポーツの意義や価値について、事実や理念を整理したり、自己のスポーツへの関わりを見いだしたりして、自己や社会にスポーツがもたらす影響について課題を発見することができるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 スポーツの文化的特性や現代スポーツの発展についての学習に、自主的に取り組もうとすることができるようにする。	(ウ)スポーツの経済効果と高潔さ (エ)スポーツが環境や社会にもたらす影響 ・教材：教科書、学習カード ・一人1台端末の活用：映像資料や学習カード等を各自の端末に配信するとともに、作成したデータをポートフォリオとして蓄積し今後の学習に活用する。	【知識・技能】 ・現代のスポーツの経済効果には、スポーツの実施による直接的な効果のみならず、例えば、スポーツ用品、スポーツに関する情報やサービス、スポーツ施設などの広範な業種から構成されるスポーツ産業による効果、スポーツイベント等による波及的な経済効果があり、経済活動に大きな影響を及ぼしていることについて、言ったり書きだしたりしている。なお、スポーツの経済的波及効果が高まることに伴って、スポーツの価値をおとしめる可能性が生じることから、スポーツに関わる全ての人々に、スポーツの価値を一層高める関わり方が求められていることについて、言ったり書きだしたりしている。 ・スポーツに関わる人々の増加は、例えば、地域の生活や社会環境にも様々な影響をもたらすようになっていることについて、言ったり書きだしたりしている。また、スポーツを行う際には、提供者、利用者の双方が持続可能な社会の実現や共生社会の実現を視野に入れた取組が求められることについて、言ったり書きだしたりしている。 【思考・判断・表現】 ・スポーツの経済効果と高潔さやスポーツが環境や社会へもたらす影響について、習得した知識を基に、持続可能なスポーツの発展のための課題の解決に向けて、自己の提案を言葉や文章などを通して他者に伝えている。	○	○	○	2

	<p>A 体づくり運動</p> <p>【知識及び技能】 次の運動を通して、体を動かす楽しさや心地よさを味わい、運動を継続する意義、体の構造、運動の原則などを理解するとともに、健康の保持増進や体力の向上を目指し、目的に適切な運動の計画を立て取り組むことができるようになる。ア 体ほぐしの運動では、手軽な運動を行い、心と体は互いに影響し変化することや心身の状態に気付き、仲間と自主的に関わり合うことができるようになる。イ 実生活に生かす運動の計画では、ねらいに応じて、健康の保持増進や調和のとれた体力の向上を図るための運動の計画を立て取り組むことができるようになる。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えることができるようにする。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 体づくり運動に自主的に取り組むとともに、互いに助け合い教え合おうとすること、一人一人の違いに応じた動きなどを大切にしようとする、話合いに貢献しようとするなど、健康・安全を</p>	<p>(ア)体ほぐしの運動</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・のびのびとした動作で用具などを用いた運動</li> <li>・リズムに乗って心が弾むような運動</li> <li>・緊張したり緊張を解いて脱力したりする運動</li> <li>・いろいろな条件で、歩いたり走ったり飛び跳ねたりする運動</li> <li>・仲間と協力して課題を達成するなど、集団で挑戦するような運動</li> </ul> <p>・教材：教科書、学習カード</p> <p>・一人1台端末の活用：映像資料や学習カード等を各自の端末に配信するとともに、作成したデータをポートフォリオとして蓄積し今後の学習に活用する。</p>	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・定期的・計画的に運動を継続することは、心身の健康、健康や体力の保持増進につながる意義があることについて、言ったり書き出したりしている。</li> <li>・運動を安全に行うには、関節への負荷がかかりすぎないようにすることや軽い運動から始めるなど、徐々に筋肉を温めてから行うことについて、言ったり書き出したりしている。</li> </ul> <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ねらいや体力の程度を踏まえ、自己や仲間の課題に応じた強度、時間、回数、頻度を設定している。</li> <li>・体力の程度や性別等の違いに配慮して、仲間とともに体づくり運動を楽しむための活動の方法や修正の仕方を見付けている。</li> </ul> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・体づくり運動の学習に自主的に取り組もうとしている。</li> <li>・健康・安全を確保している。</li> </ul>	○	○	○	4
3 学 期	<p>E 球技 ア ゴール型</p> <p>「バスケットボール」</p> <p>【知識及び技能】 (1) 次の運動について、勝敗を競う楽しさや喜びを味わい、(技術の名称や行い方、体力の高め方、運動観察の方法などを理解するとともに)、作戦に応じた技能で仲間と連携しゲームを展開することができるようにする。ア ゴール型では、安定したボール操作と空間を作り出すなどの動きによってゴール前への侵入などから攻防をすることができるようにする。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 ・攻防などの自己やチームの課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、(自己や仲間の考えたことを他者に伝える)ことができるようにする。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 ・バスケットボールに自主的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にしようとする、作戦などについて話合いに貢献しようとする、(一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようとする)、(互いに助け合い教え合おうとする)など、健康・安全を</p>	<p>ア バスケットボール</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・教材：教科書、学習カード</li> <li>・一人1台端末の活用：映像資料や学習カード等を各自の端末に配信するとともに、作成したデータをポートフォリオとして蓄積し今後の学習に活用する。</li> </ul>	<p>【知識】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・戦術や作戦に応じて、技能をゲーム中に適切に発揮することが攻防のポイントであることについて、学習した具体例を挙げている。</li> </ul> <p>【技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・味方が操作しやすいパスを送ることができる。</li> <li>・ゴール前に広い空間を作り出すために、守備者を引きつけてゴールから離れることができる。</li> <li>・パスを出した後に次のパスを受ける動きをすることができる。</li> </ul> <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・バスケットボールの合理的な動きと自己や仲間の動きを比較して、成果や改善すべきポイントとその理由を仲間に伝えている。</li> <li>・チームで分担した役割に関する成果や改善すべきポイントについて、自己の活動を振り返っている。</li> </ul> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・バスケットボールの学習に自主的に取り組もうとしている。</li> <li>・相手を尊重するなどのフェアなプレイを大切にしようとしている。</li> <li>・作戦などについて話合いに貢献しようとしている。</li> <li>・健康・安全を確保している。</li> </ul>	○	○	○	10
	<p>H 体育理論 「1 スポーツの文化的特性や現代のスポーツの発展」</p> <p>【知識及び技能】 ・現代のスポーツは、経済的な波及効果があり、スポーツ産業が経済の中で大きな影響を及ぼしていること。また、スポーツの経済的な波及効果が高まるにつれ、スポーツの高潔さなどが一層求められることを理解できるようにする。 ・スポーツを行う際は、スポーツが環境や社会にもたらす影響を考慮し、多様性への理解や持続可能な社会の実現に寄与する責任ある行動が求められることを理解できるようにする。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 ・スポーツの歴史的発展と多様な変化や現代のスポーツの意義や価値について、事実や理念を整理したり、自己のスポーツへの関わりを見いだしたりして、自己や社会にスポーツがもたらす影響について課題を発見することができるようにする。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 スポーツの文化的特性や現代スポーツの発展についての学習に、自主的に取り組もうとすることができるようにする。</p>	<p>(ウ)スポーツの経済効果と高潔さ (エ)スポーツが環境や社会にもたらす影響</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・教材：教科書、学習カード</li> <li>・一人1台端末の活用：映像資料や学習カード等を各自の端末に配信するとともに、作成したデータをポートフォリオとして蓄積し今後の学習に活用する。</li> </ul>	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・現代のスポーツの経済的効果には、スポーツの実施による直接的な効果のみならず、例えば、スポーツ用品、スポーツに関する情報やサービス、スポーツ施設などの広範な業種から構成されるスポーツ産業による効果、スポーツイベント等による波及的な経済的効果があり、経済活動に大きな影響を及ぼしていることについて、言ったり書きだしたりしている。なお、スポーツの経済的波及効果が高まることに伴って、スポーツの価値をおとしめる可能性が生じることから、スポーツに関わる全ての人々に、スポーツの価値を一層高める関わり方が求められていることについて、言ったり書きだしたりしている。</li> <li>・スポーツに関わる人々の増加は、例えば、地域の人々の生活や社会環境にも様々な影響をもたらすようになってきていることについて、言ったり書きだしたりしている。また、スポーツを行う際には、提供者、利用者の双方が持続可能な社会の実現や共生社会の実現を視野に入れた取組が求められることについて、言ったり書きだしたりしている。</li> </ul> <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・スポーツの経済的効果と高潔さやスポーツが環境や社会へもたらす影響について、習得した知識を基に、持続可能なスポーツの発展のための課題の解決に向けて、自己の提案を言葉や文章などを通して他者に伝えている。</li> </ul> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p>	○	○	○	2
備考							合計
							76

高等学校 令和7年度

教科 芸術 科目 美術 I

対象学年組： 第 1 学年 M 組

単位数： 2 単位

教科担当者： 山本一博

使用教科書： 発行者 日文

教科書記号・番号 美I703

教科書名 高校美術

教科 「芸術」 の目標

【知識及び技能】	芸術に関する各科目の特質について理解するとともに、制作意図に基づき表現するための技能を身に付ける。
【思考力、判断力、表現力等】	創造的な表現を工夫し、芸術の美しさを深く味わい自ら考え制作する。
【学びに向かう力、人間性等】	生涯にわたり芸術を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、心豊かな生活や社会を創造していく態度を養い、情操を培う。

科目 「美術 I」 の目標

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
対象や事象を捉える造形的な視点について理解を深めるとともに、意図に応じて表現方法を創意工夫し、創造的に表現するための技能と知識を身に付ける。	創造的な表現を創意工夫し、課題のねらい、見方や感じ方などの制作意図について考え、表現と鑑賞を一体的に扱い主題を精査し創造的な発想や構想を練り、表現活動を行う。	造形的な美しさ、表現の意図と創意工夫、美術の働きなどについて考え、課題目的を精査し創造的に発想構想を練り、芸術的な価値感などを意識し美術や文化に対する見方や感じ方の多様性を考え感受性を高める。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	表現			鑑賞	評価規準	知	思	態	配当 時数		
		絵・彫	デ	映								
1 学 期	A 単元 オリエンテーション 美術とは 【知識及び技能】 美術とは何か、美術作品の評価基準とは、時代の移り変わりの中でこれからの美術の役割などを、美術 I の学習イメージを持ち、学びの意味について考える。 【思考力、判断力、表現力等】 感性や想像力を働かせて、自己の意図に合った表現方法を創意工夫し、創造的に表現を構想する。創造的な表現に必要な技能・技術を身に付け、制作過程を工夫する。 【学びに向かう力、人間性等】 主体的に作品制作に取り組む姿勢を身に付け、鑑賞を通し、制作の意図を理解して感受性を高める。	・指導事項 オリエンテーション 美術とは 美術について考える。・教材 原稿用紙、	○	○	○	○		○	○	○	2	
	B 単元 製図 【知識及び技能】 図学の基礎知識を学び正確な製図を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】 感性や想像力を働かせて、意図に合った表現方法を創意工夫し、創造的に構想する為に必要な技能・技術を身に付け、制作過程を工夫する。 【学びに向かう力、人間性等】 主体的に作品制作に取り組む姿勢を身に付け、鑑賞を通し、制作の意図を理解して感受性を高める。	・指導事項 製図 正五角形 正十二面体展開図作成 ・教材 画用紙、定規、筆記用具など	○	○		○			○	○	○	6
	C 単元 絵画・立体切り絵 【知識及び技能】 切り絵の基本的な表現技法を学び、絵画としての構図、構成を理解する。道具、素材など正しく安全な使い方を習得する。 【思考力、判断力、表現力等】 切り絵の特徴を引き出す表現方法を創意工夫し、創造的に表現を構想する。創造的な表現に必要な技能を身に付け、表現方法を工夫する。 【学びに向かう力、人間性等】 主体的に作品制作に取り組む姿勢を身に付け、鑑賞を通し、制作の意図を理解して感受性を高める。	・指導事項 正十二面体切り絵作成 ・教材 カラーケント紙、折り紙、トレーシングペーパー、カッター、マット、カーボン紙、スティックのり、木工用ドンドなど	○	○		○			○	○	○	16







高等学校 令和7年度（1学年用）

教科 保健体育 科目 保健

対象学年組： 第1学年 M組 単位数： 1 単位 教科担当者： 鈴木 悠太  
 使用教科書： 発行者 大修館 教科書記号・番号 保体701 教科書名 現代高等保健体育  
 教科 「保健体育」 の目標

【知識及び技能】	各種の運動の特性に応じた技能等及び社会生活における健康・安全について理解するとともに、技能を身に付けるようにする。
【思考力、判断力、表現力等】	運動や健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝える力を養う。
【学びに向かう力、人間性等】	生涯にわたって継続して運動に親しむとともに健康の保持増進と体力の向上を目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養う。

科目 「保健」 の目標	【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
個人及び社会生活における健康・安全について理解を深めるとともに、技能を身に付けるようにする。	健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、目的や状況に応じて他者に伝える力を養う。	生涯を通して自他の健康の保持増進とそれを支える環境づくりを目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養う。	

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	技	態	配当 時数	
1 学 期	<p>【1】現代社会と健康                      【知識及び技能】                      現代社会と健康について理解を深めることができるようにする。                      【思考力、判断力、表現力等】                      現代社会と健康について、課題を発見し、健康や安全に関する原則や概念に着目して解決の方法を思考し判断するとともに、それらを表現できるようにする。                      【学びに向かう力、人間性等】                      現代社会と健康についての学習に主体的に取り組もうとしている。</p>	<p>【ア】健康の考え方の国民の健康課題                      ①健康の考え方と成り立ち                      ②健康の保持増進のための適切な意思決定や行動選択と環境づくり                      ・教材：教科書、学習プリント                      ・一人1台端末の活用：パワーポイント資料等を各自の端末に配信し、映像資料として教科書や学習プリントと同時並行で活用する。</p>	<p>【知識・技能】                      ・我が国の死亡率、発病率、平均寿命、健康寿命など各種の指標や疾病構造の変化を通して国民の健康課題について、理解したことを言ったり書いたりしている。                      ・健康水準、及び疾病構造の変化には、科学技術の発達、及び生活様式や労働形態を含む社会の状況が関わっていることについて、理解したことを言ったり書いたりしている。                      ・健康水準の向上、疾病構造の変化に伴い、個人や集団の健康についての考え方も変化してきていることについて、理解したことを言ったり書いたりしている。                      ・免疫、遺伝、生活行動などの主体要因と、自然、経済、文化、保健・医療サービスなどの環境要因が互いに影響し合いながら健康の成立に関わっていることについて、理解したことを言ったり書いたりしている。                      ・健康を保持増進するには、ヘルスプロモーションの考え方にに基づき、適切な意思決定や行動選択により、疾病等のリスクを軽減することをめ、自らの健康を適切に管理することが必要であるとともに、環境づくりが重要であることについて、理解したことを言ったり書いたりしている。                      ・適切な意思決定や行動選択には、個人の知識、価値観、心理状態、及び人間関係などを含む社会環境が関連していることについて、理解したことを言ったり書いたりしている。                      ・健康を保持増進するための環境には、自然環境及び政策や制度、地域活動などの様々な社会環境があることについて、理解したことを言ったり書いたりしている。</p> <p>【思考・判断・表現】                      ・健康の考え方について、健康に関わる原則や概念を整理したり、個人及び社会生活と関連付けたりして、自他や社会の課題を発見している。                      ・国民の健康課題について、我が国の健康水準の向上や疾病構造の変化に関するデータや資料に基づいて分析し、生活の質の向上に向けた課題解決の方法をヘルスプロモーションの考え方を踏まえて整理している。                      ・健康の考え方について、自他や社会の課題の解決方法など、それを選択した理由などを話し合ったり、ノートなどに記述したりして、協議を立てて説明している。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】                      健康の考え方について、課題の解決に向けた学習に主体的に取り組もうとしている。</p>	○	○	○	4

【作成の際の参考資料】  
 ○学習指導要領  
 ○「指導と評価の一体化」のための学習評価に関する参考資料)

教科、科目、学年、単位数、教科担当者、教科書情報をプルダウンリストから選択してください。  
 教科書を選択すれば、教科書の発行者、教科書番号・記号は自動で反映されます。

教科、科目の目標欄の「教科名」「科目名」は自動で反映されます。

教科・科目の目標は学習指導要領を参照し直接入力してください。

・単元の具体的な指導目標⇒単元ごとの目標を3観点それぞれで入力してください。

・指導項目・内容⇒指導事項や使用教材、ICTの活用などについて記入してください。

・評価規準⇒参考資料をもとに、単元で評価を行う観点の入力を行ってください。また、実際に評価を行う観点について表に○を入力してください（プルダウンで選択）

・配当時数⇒単元で計画している時数を入力してください。合計は2ページ目の最下部に反映されますので、単位時間数が1単位につき35単位時間を下らないようにしてください。

※学期ごとの入力枠（単元数）が不足したり、多すぎる場合は、列を挿入or削除して対応してください。（定期考査の枠も同様）

※年間で2ページ以内に収まるように文字のポイントや列の幅などを調整してください。

※単元名や目標等と1学期が1ページ目、2・3学期が2ページ目の設定となっています。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	技	情	態度	配当 時数
1 学期	(イ)現代の感染症とその予防 ・教材：教科書、学習プリント ・一人1台端末の活用：パワーポイント資料等を各自の端末に配信し、映像資料として教科書や学習プリントと同時並行で活用する。	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・感染症は時代や地域によって自然環境や社会環境の影響を受け、発生や流行に違いが見られること、その際、交通網の発達により短時間で広がりがやすくなっていること、また、新たな病原体の出現、感染症に対する社会の意識の変化等によって、腸管出血性大腸菌（O157等）感染症、結核などの新興感染症や再興感染症の発生や流行が見られることについて、理解したことを言ったり書いたりしている。</li> <li>・感染症のリスクを軽減し予防するには、衛生的な環境の整備や検疫、正しい情報の発信、予防接種の普及など社会的な対策とともに、それらを前提とした個人の取組が必要であること、エイズ及び性感染症についても、その原因、及び予防のための個人の行動変容や社会的対策について、理解したことを言ったり書いたりしている。</li> </ul> <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・現代の感染症とその予防について、健康に関わる原則や概念を基に整理したり、個人及び社会生活と関連付けたりして、自他や社会の課題を発見している。</li> <li>・感染症の発生や流行には時代や地域によって違いがみられることについて、事例を通して整理し、感染のリスクを軽減するための個人の取組及び社会的な対策に活用している。</li> <li>・現代の感染症とその予防について、自他や社会の課題の解決方法と、それを選択した理由などを話し合ったり、ノートなどに記述したりして、筋道を立てて説明している。</li> </ul> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <p>現代の感染症とその予防について、課題の解決に向けた学習に主体的に取り組もうとしている。</p>	○	○	○		5
	(ウ)生活習慣病などの予防と回復 ・教材：教科書、学習プリント ・一人1台端末の活用：パワーポイント資料等を各自の端末に配信し、映像資料として教科書や学習プリントと同時並行で活用する。	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・がん、脳血管疾患、虚血性心疾患、高血圧症、脂質異常症、糖尿病などを適宜取り上げ、これらの生活習慣病などのリスクを軽減し予防するには、適切な運動、食事、休養及び睡眠など、調和のとれた健康的な生活を続けることが必要であること、定期的な健康診断やがん検診などを受診することが必要であることについて、理解したことを言ったり書いたりしている。</li> <li>・がんは、肺がん、大腸がん、胃がんなど様々な種類があり、生活習慣のみならず細菌やウイルスの感染などの原因もあることについて、理解したことを言ったり書いたりしている。</li> <li>・生活習慣病などの予防と回復には、個人の取組とともに、健康診断やがん検診の普及、正しい情報の発信など社会的な対策が必要であることについて、理解したことを言ったり書いたりしている。</li> </ul> <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・生活習慣病などの予防と回復について、健康に関わる原則や概念を基に整理したり、個人及び社会生活と関連付けたりして、自他や社会の課題を発見している。</li> <li>・生活習慣病などの予防と回復について、習得した知識を基に自他の生活習慣や社会環境を分析し、リスクの軽減と生活の質の向上に必要な個人の取組や社会的な対策を整理している。</li> <li>・生活習慣病などの予防と回復について、自他や社会の課題の解決方法と、それを選択した理由などを話し合ったり、ノートなどに記述したりして、筋道を立てて説明している。</li> </ul> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <p>生活習慣病とその予防について、課題の解決に向けた学習に主体的に取り組もうとしている。</p>	○	○	○		2
定期考査			○	○			1

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知・技	態	配当 時数	
2 学期	<p>(1)現代社会と健康</p> <p>【知識及び技能】 現代社会と健康について理解を深めることができるようにする。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 現代社会と健康について、課題を発見し、健康や安全に関する原則や概念に着目して解決の方法を思考し判断するとともに、それらを表現できるようにする。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 現代社会と健康についての学習に主体的に取り組もうとしている。</p>	<p>(ウ)生活習慣病などの予防と回復</p> <p>・教材：教科書、学習プリント</p> <p>・一人1台端末の活用：パワーポイント資料等を各自の端末に配信し、映像資料として教科書や学習プリントと同時並行で活用する。</p>	<p>【知識・技能】</p> <p>・がん、脳血管疾患、虚血性心疾患、高血圧症、脂質異常症、糖尿病などを適宜取り上げ、これらの生活習慣病などのリスクを軽減し予防するには、適切な運動、食事、休養及び睡眠など、調和のとれた健康的な生活を続けることが必要であること、定期的な健康診断やがん検診などを受診することが必要であることについて、理解したことを言ったり書いたりしている。</p> <p>・がんは、肺がん、大腸がん、胃がんなど様々な種類があり、生活習慣のみならず細菌やウイルスの感染などの原因もあることについて、理解したことを言ったり書いたりしている。</p> <p>・生活習慣病などの予防と回復には、個人の取組とともに、健康診断やがん検診の普及、正しい情報の発信など社会的な対策が必要であることについて、理解したことを言ったり書いたりしている。</p> <p>【思考・判断・表現】</p> <p>生活習慣病などの予防と回復について、健康に関わる原則や概念を基に整理したり、個人及び社会生活と関連付けたりして、自他や社会の課題を発見している。</p> <p>生活習慣病などの予防と回復について、習得した知識を基に自他の生活習慣や社会環境を分析し、リスクの軽減と生活の質の向上に必要な個人の取組や社会的な対策を整理している。</p> <p>生活習慣病などの予防と回復について、自他や社会の課題の解決方法と、それを選択した理由などを話し合ったり、ノートなどに記述したりして、筋道を立てて説明している。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 生活習慣病とその予防について、課題の解決に向けた学習に主体的に取り組もうとしている。</p>	○	○	○	2
	<p>(エ)喫煙、飲酒、薬物乱用と健康</p> <p>の喫煙、飲酒と健康</p> <p>①薬物乱用と健康</p> <p>・教材：教科書、学習プリント</p> <p>・一人1台端末の活用：パワーポイント資料等を各自の端末に配信し、映像資料として教科書や学習プリントと同時並行で活用する。</p>	<p>【知識・技能】</p> <p>・喫煙や飲酒は、生活習慣病などの要因となり心身の健康を損ねること、喫煙や飲酒による健康課題を防止するには、正しい知識の普及、健全な価値観の育成などの個人への働きかけ、及び法的な整備も含めた社会環境への適切な対策が必要であることについて、理解したことを言ったり書いたりしている。</p> <p>・コカイン、MDMAなどの麻薬、覚醒剤、大麻、など、薬物の乱用は、心身の健康、社会の安全などに対して深刻な影響を及ぼすことから、決して行ってはならないことについて、理解したことを言ったり書いたりしている。</p> <p>・薬物乱用を防止するには、正しい知識の普及、健全な価値観や規範意識の育成などの個人への働きかけ、及び法的な規制や行政的な対応など社会環境への対策が必要であることについて、理解したことを言ったり書いたりしている。</p> <p>【思考・判断・表現】</p> <p>喫煙、飲酒、薬物乱用の防止について、健康に関わる原則や概念を基に整理したり、個人及び社会生活と関連付けたりして、自他や社会の課題を発見している。</p> <p>・喫煙、飲酒、薬物乱用の防止について、我が国のこれまでの取組を個人への働きかけと社会環境への対策の面から分析したり、諸外国と比較したりして、防止策を評価している。</p> <p>・喫煙、飲酒、薬物乱用の防止について、自他や社会の課題の解決方法と、それを選択した理由などを話し合ったり、ノートなどに記述したりして、筋道を立てて説明している。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 喫煙、飲酒、薬物乱用について、課題の解決に向けた学習に主体的に取り組もうとしている。</p>	○	○	○	7	

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知・技	態	配当 時数	
2 学 期	<p>①精神疾患の予防と回復 の精神疾患の特徴 ②精神疾患への対処 ：教材：教科書、学習プリント ：一人1台端末の活用：パワーポ イント資料等を各自の端末に配信し、 映像資料として教科書や学習プリン トと同時並行で活用する。</p>	<p>【知識・技能】 ・精神疾患は、精神機能の基盤となる心理的、生 物的、または社会的な機能の障害などが原因とな り、認知、情動、行動などの不調により、精神活 動が不全になった状態であることについて、理解 したことを言ったり書いたりしている。 ・うつ病、統合失調症、不安症、摂食障害など は、誰もが罹患しうることで、若年で発症する疾患 が多いこと、適切な対処により回復し生活の質の 向上が可能であることについて、理解したことを 言ったり書いたりしている。 ・精神疾患の予防と回復には、身体の健康と同じ く、適切な運動、食事、休養及び睡眠など、調和 のとれた生活を実践すること、早期に心身の不調 に気付くこと、心身に起こった反応については体 質よしの運動などのリラクゼーションの方法でス トレスを緩和することなどが重要であることにつ いて、理解したことを言ったり書いたりしてい る。 ・心身の不調時には、不安、抑うつ、焦燥、不眠 などの精神活動の変化が、通常時より強く、持続 的に生じること、心身の不調の早期発見と治療や 支援の早期の開始によって回復可能性が高まるこ とについて、理解したことを言ったり書いたりし ている。 ・人々が精神疾患について正しく理解するととも に、専門家への相談や早期の治療などを受けやす い社会環境を整えることが重要であること、偏見 や差別の対象ではないことについて、理解したこ とを言ったり書いたりしている。</p> <p>【思考・判断・表現】 ・精神疾患の予防と回復について、健康に関わる 原則や概念を基に整理したり、個人及び社会生活 と関連付けたりして、自他や社会の課題を発見し ている。 ・精神疾患の予防と回復について、習得した知識 を基に、心身の健康を保ち、不調に早く気付くた めに必要な個人の取組や社会的な対策を整理し ている。 ・精神疾患の予防と回復について、自他や社会 の課題の解決方法と、それを選択した理由などを話 合ったり、ノートなどに記述したりして、筋道 を立てて説明している。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 精神疾患の予防とその回復について、課題の解決 に向けた学習に主体的に取り組もうとしている。</p>	○	○	○	4
	<p>②安全な社会生活 【知識及び技能】 安全な社会生活について理解を深め るとともに、応急手当てを適切にでき るようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 安全な社会生活について、安全に関 する原則や概念に着目して危険の予 測やその 回避の方法を考え、それらを表現す ること。 【学びに向かう力、人間性等】 安全な社会生活についての学習に主 体的に取り組もうとしている。</p>	<p>(ア)安全な社会づくり ①事故の現状と発生要因 ②安全な社会の形成 の交通安全 ：教材：教科書、学習プリント ：一人1台端末の活用：パワーポ イント資料等を各自の端末に配信し、 映像資料として教科書や学習プリン トと同時並行で活用する。</p> <p>【知識・技能】 ・事故は、地域、職場、家庭、学校など様々な場 面において発生していること、事故の発生には、 周りの状況の把握及び判断、行動や心理などの人 的要因、気象条件、施設・設備、車両、法令、制 度、情報体制などの環境要因などが関連している ことについて、理解したことを言ったり書いたり している。 ・事故を防止したり事故の発生に伴う傷害等を軽 減したりすることを旨とする安全な社会の形成に は、交通安全、防災、防犯などを取り上げて、法 的な整備などの環境の整備、環境や状況に応じた 適切な行動などの個人の取組、及び地域の連携な どが必要であることについて、理解したことを 言ったり書いたりしている。 ・交通事故を防止するには、自他の生命を尊重す るとともに、自分自身の心身の状態や周りの環 境、車両の特性などを認識すること、及び個人の 適切な行動、交通環境の整備が必要であること について、理解したことを言ったり書いたりしてい る。</p> <p>【思考・判断・表現】 ・安全な社会づくりについて、安全に関する原則 や概念を基に整理したり、個人及び社会生活と関 連付けたりして、自他や社会の課題を発見してい る。 ・安全な社会づくりについて、様々な事故や災害 の事例から、安全に関する情報を整理し、環境の 整備に活用している。 ・交通安全について、習得した知識を基に、事故 につながる危険を予測し回避するための自他や社 会の取組を評価している。 ・安全な社会づくりについて、自他や社会の課題 の解決方法と、それを選択した理由などを話 合ったり、ノートなどに記述したりして、筋道 を立てて説明している。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 安全な社会づくりについて、課題の解決に向け た学習に主体的に取り組もうとしている。</p>	○	○	○	2
定期 考査					1	

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知・技	態	記 時 数	
3 学 期	②安全な社会生活 【知識及び技能】 安全な社会生活について理解を深めるとともに、応急手当てを適切に行うことができるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 安全な社会生活について、安全に関する原則や概念に着目して危険の予測やその回避の方法を考え、それらを表現すること。 【学びに向かう力、人間性等】 安全な社会生活についての学習に主体的に取り組もうとしている。	(ア)安全な社会づくり の事故の現状と発生要因 ②安全な社会の形成 の交通安全 ・教材：教科書、学習プリント ・一人1台端末の活用：パワーポイント資料等を各自の端末に配信し、映像資料として教科書や学習プリントと同時並行で活用する。	【知識・技能】 ・事故は、地域、職場、家庭、学校など様々な場面において発生していること、事故の発生には、周りの状況の把握及び判断、行動や心理などの人的要因、気象条件、施設・設備、車両、法令、制度、情報体制などの環境要因などが関連していることについて、理解したことを言ったり書いたりしている。 ・事故を防止したり事故の発生に伴う傷害等を軽減したりすることを目指す安全な社会の形成には、交通安全、防災、防犯などを取り上げて、法的な整備などの環境の整備、環境や状況に応じた適切な行動などの個人の取組、及び地域の連携などが必要であることについて、理解したことを言ったり書いたりしている。 ・交通安全を防止するには、自他の生命を尊重することともに、自分自身の心身の状態や周りの環境、車両の特性などを把握すること、及び個人の適切な行動、交通環境の整備が必要であることについて、理解したことを言ったり書いたりしている。 【思考・判断・表現】 ・安全な社会づくりについて、安全に関わる原則や概念を基に整理したり、個人及び社会生活と関連付けたりして、自他や社会の課題を発見している。 ・安全な社会づくりについて、様々な事故や災害の事例から、安全に関する情報を整理し、環境の整備に応用している。 ・交通安全について、習得した知識を基に、事故につながる危険を予測し回避するための自他や社会の取組を評価している。 ・安全な社会づくりについて、自他や社会の課題の解決方法と、それを選択した理由などを話し合ったり、ノートなどに記述したりして、筋道を立てて説明している。 【主体的に学習に取り組む態度】 安全な社会づくりについて、課題の解決に向けた学習に主体的に取り組もうとしている。	○	○	○	3
	(イ)応急手当て の応急手当ての種類 ①日常的な応急手当て の心肺蘇生法 ・教材：教科書、学習プリント ・一人1台端末の活用：パワーポイント資料等を各自の端末に配信し、映像資料として教科書や学習プリントと同時並行で活用する。	【知識・技能】 ・適切な応急手当ては、傷害や疾病の悪化を防いだり、傷病者の苦痛を緩和したりすることについて、理解したことを言ったり書いたりしている。 ・自他の生命や身体を守り、不慮の事故災害に対応できる社会をつくるには、一人一人が適切な連絡・通報や連携も含む応急手当ての手順や方法を身に付けるとともに、自ら進んで行う態度が必要であること、さらに、社会の救急体制の整備を進めること、救急体制を適切に利用することが必要であることについて、理解したことを言ったり書いたりしている。 ・日常生活で起こる傷害や、熱中症などの疾病の際には、それに応じた体位の確保・止血・固定などの基本的な応急手当ての方法や手順があることを、実習を通して理解し、応急手当てができるようになる。 ・心肺停止状態においては、急速に回復の可能性が失われつつあり、速やかな気道確保、人工呼吸、胸骨圧迫、AED(自動体外式除細動器)の使用などが必要であること、及び方法や手順について、実習を通して理解したことを言ったり書いたりし、AEDなどを用いて心肺蘇生ができる。 【思考・判断・表現】 ・応急手当てについて、安全に関わる原則や概念を基に整理したり、個人及び社会生活と関連付けたりして、自他や社会の課題を発見している。 ・応急手当てについて、習得した知識や技能を事故や災害で生じる傷害や疾病に関連付けて、悪化防止のための適切な方法に応用している。 ・応急手当てについて、自他や社会の課題の解決方法と、それを選択した理由などを話し合ったり、ノートなどに記述したりして、筋道を立てて説明している。 【主体的に学習に取り組む態度】 応急手当てについて、課題の解決に向けた学習に主体的に取り組もうとしている。	○	○	○	6	
	定期考査					1	
備考						合計 38	